

地上波放送事業者:放 メーカー:メ 有料多チャンネル事業者:有 通信事業者:通 ネット事業者(含むOTT):ネ 国・関係機関:公 広告代理店:広

2017年5月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	ハイブリッドキャスト	有料VOD	無料VOD	動画配信化 同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)	録画視聴化	ソリシヤル化 分散型化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末
年月日	事業者	内容													
5月1日	放有	大分朝日放送(OAB)と愛媛CATV 愛媛CATVの地域専門4KチャンネルでOAB製作の4K番組の放送を開始。両社の連携により放送技術と事業機会の拡大、放送による地域活性化を促すのが狙い										○			
5月2日	有	NTTぶらら MVNOサービス「ぶららモバイルLTE」を2017年11月をもって終了すると発表。今後は動画事業に集中する。利用者にはNTTコミュニケーションズのモバイルサービスを案内する。													○
5月8日	ネ	サイバーエージェント ライブ配信サービス「FRESH!」のiOS版をアップデート。縦画面でのアプリ起動やバックグラウンド再生が可能となった							○						
5月8日	放	アドバンスドメディアと朝日放送 音声認識技術「AmiVoice」を用いた放送局向け音声文字化システムを共同開発。4月から試験運用を始めたこと発表。音声データをリアルタイムにテキスト化できる													○
5月9日	放	NHK 16年度の決算速報で受信料収入が2.2%増の6769億円となり3年連続で過去最高を記録したと発表。契約件数の増加と受信料支払い率の改善が要因。事業収益も初めて7000億円を超えた													
5月10日	ネ	Spectee AIを活用してSNS上の情報から自動的にニュース記事を作成する技術のうち、SNSの投稿から記事を生産する技術と投稿情報から場所を特定する技術で特許を取得したと発表した													○
5月10日	ネ放	AbemaTV 5月1日から7日までの週間利用者が過去最高の550万人を超えたと発表。番組延べ視聴者数も7日の亀田興毅選手と一般参加者が賞金を懸け戦う番組が過去最高の1420万人を記録							○		○				
5月11日	放通	KDDIとNHK 5Gを利用した8Kの伝送実験を5月中に実施すると発表。2018年には実際のスタジアムでの8Kの中継実験などを計画しており、映像分野の新サービス創出を促進する													○
5月11日	ネ放	日本テレビとオールアウトマーケティング オールアウト社のEC事業を担う子会社と連携し、「日テレ・ライブマーケティング株式会社」を新設。日テレグループのECでの事業拡大が目的													○
5月11日	メ	ビクセラ BS右旋と110度CS左旋の4K試験放送に対応したチューナーを製品化。放送事業者など法人向けに技術評価用として9月から販売を開始する。本体価格は20万円													○
5月11日	ネ	エイガ・ドット・コム 「映画.com」のデータを利用し、「Hulu」など国内利用可能な16のサービスを横断しながら映画を検索可能なアプリ「映画.now」の提供を開始。配信形態などの情報を比較できる				○									○
5月11日	放	NHK 開発を行った超薄型有機ELディスプレイの研究で、長寿命化に適した発光材料の設計構造を明らかにしたと発表。高効率で長寿命なディスプレイの早期開発に活用する										○			
5月15日	ネ放	AbemaTV 「AbemaTV」で鉄道や工場など「鉄」にまつわる番組を配信する「鉄チャンネル」が開設。引退する鉄道の姿をとらえた番組や工場の外観を撮った番組などオリジナル番組を含めて配信							○						
5月15日	有	WOWOW 2020年までの中期経営戦略を発表。2018年度に同時配信サービス、2020年末には4K放送を開始すると発表した。また、オリジナルコンテンツなどを提供する番組も拡大する予定				○		○				○			
5月15日	放	山形放送とプライド・トゥ VRによる360度動画の配信を開始。山形の観光スポットなどをVR動画でYouTube上に配信する。パソコン、スマホから視聴可能。VRによる地域活性化を目指す													○
5月16日	公	総務省 5Gを利用して新市場を創出するための総合的な実証実験の開始を発表。参加事業者はNTTドコモなどで6つの実証実験を全国で実施													○
5月16日	ネ	HJホールディングス 2017年度末での「Hulu」有料会員数が155万人を超えたことを発表。昨年度より25万人近く増加し、日本テレビによる買収後3年間で96万人の増加となった				○									
5月17日	ネ	HJホールディングス 「Hulu」の動画配信システムをリニューアル。従来はPCのみだったリアルタイム配信がスマホにも対応。マルチプロフィール機能やUIも端末毎に最適化し1080pでの視聴も可能				○									
5月17日	ネ	ニールセンデジタル 日本を含めた23の国と地域でTwitter上の広告視聴率の計測を開始したと発表。テレビ広告の測定指標と同じ基準を用いてTwitter上での広告効果を測定する													○
5月17日	ネ	エイベックスとNTTドコモ 「dアニメストア」でアニメの入浴シーンから再生する機能の特設ページで実装。1作品ごとはもちろん、入浴シーンのみで複数作品を連続再生することも可能				○			○						
5月17日	ネ	ビデオマーケット VODサービスの「ビデオマーケット」がパソコン向けサイトをリニューアル。ジャンル別表示などインターフェースの刷新に加え、SNS連携による情報共有の効率化を行った				○									○
5月19日	放通	NHKとNTTドコモ 5Gを用いた8Kの伝送実験を5月以降に共同で行うと発表。ドコモの提供する5Gの実験環境で8Kのリアルタイム伝送が可能であることを実証する目的													○
5月19日	有	スカパーJSAT 決算説明会で2017年度の戦略を発表。スマートテレビ向けのIPリニアサービスやハイブリッドキャストへの対応を行う。昨年16万件減少した登録件数を来年度までに132万件にする			○	○	○								
5月19日	メ放	ジャパンディスプレイ(JDD)とNHKメディアテクノロジー(NHK-MT) 8Kディスプレイをベースに、3D専用メガネを使用せず高精細な3D映像を楽しめる新型ディスプレイを開発したと発表													○
5月22日	ネ放	radikoとBIGLOBE BIGLOBEのMVNOサービスで特定のエンタメサービスが通信料無料になる「エンタメフリー・オプション」に「radiko.jp」を追加。月額6GB以上の契約者が利用できる							○						○
5月23日	放広有	TBS、テレビ東京、WOWOW、博報堂DYP、電通、日経新聞 動画配信サービスを行う新会社「プレミアム・プラットフォーム・ジャパン」の共同設立に合意を発表。有料VODや4Kの配信などを行う				○									
5月23日	放	NHK 世界最小の8K有機ELディスプレイを使ったVRシステムを開発したと発表。従来のVRでは画素数の問題から欠けていた臨場感を8Kにより改善した													○
5月24日	放	フジテレビ ニュースメディア「ホウドウキョク」のスマホアプリの配信を開始。ニュースのライブ配信やVRコンテンツなどを無料で楽しめる。動画ニュースは毎日50本配信。緊急情報の通知も対応													○
5月24日	有	WOWOW WOWOWで放送した番組をスマホでも視聴できる有料サービス「WOWOWメンバーズオンデマンド」がChromecastに対応を開始した				○									
5月24日	ネ	HJホールディングス 「Hulu」の改修後からクラウドサービスのトラブルやプログラムの誤りなどが原因で発生していた不具合状況を公表。ドメインの変更と「Hulu」アメリカ版のライセンス切れが要因				○									
5月24日	放	NHK NHKが今年の民放連との連携企画として「radiko」にキャンペーン参加することに合意と発表。26日の「放送を巡る諸課題」についての懇談会」で報告した。配信時期などは未定													○
5月25日	放	NHK NHK技術研究所の「第71回技研公開」を開催。SNSの情報などから記事を自動生成するなど、AIを活用した番組制作技術やハイブリッドキャストを共通のアプリで利用可能な技術を紹介した				○									○
5月25日	放	NHK ワンセグ付き携帯の受信料支払いを巡る裁判で、水戸地裁は受信料の返還を求めている女性の訴えを棄却し、支払い義務があるとした。放送法の「受信設備の設置」を巡る解釈が争点													
5月26日	ネ	Netflix ブラッド・ピットが代表を務める製作会社とNetflixが共同で製作した映画「ウォー・マシーン:戦争は話術だ」を全世界で配信開始。原作はベストセラーとなったノンフィクション作品				○									
5月26日	公	総務省 「放送を巡る諸課題」に関する検討会」の第15回検討会を開催。高市大臣がNHKの常時同時配信化実施に向けて、事業としての位置づけや財源などの方向性を明確化するよう指摘													○
5月26日	公	総務省 第15回「放送を巡る諸課題」に関する検討会」を開催。視聴者などの個人情報管理・運用する「放送受信者等の個人情報保護に関するガイドライン」を公表した。また、ケーブルテレビ事業の4K・8K対応策や今後の指針をまとめた「ケーブルテレビ2020」も公表された													○
5月30日	公	個人情報保護委員会 第15回「放送を巡る諸課題」に関する検討会」で公表された個人情報保護のガイドラインを踏まえ、個人を特定できないよう加工すれば本人の同意なしに個人情報を第三者へ提供可能となる改正個人情報保護法が全面施行された。ビジネス面でのデータ活用などが焦点													○
5月31日	ネ	Google 子供向けのYouTube視聴アプリ「YouTube Kids」の日本での提供を開始。YouTubeの動画から子供向け動画のみを楽しめる。同サービスは世界28カ国で800万人のユーザーがいる													○
5月31日	放	NHK テレビ付き賃貸住宅の入居者の受信料支払い義務を争う裁判で、東京高裁は入居者の支払い義務を認めなかった1審判決を退けた。放送法の「受信設備を設置した者」の解釈が争点													

2017年6月まとめ		内容	マルチスクリーン化	スマートフォンテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービス	通信インフラ・モバイル端末
月日	事業者				有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)								
6月1日	ネ	パイアコム・ネットワークス・ジャパンとHJホールディングス「Hulu」で『MTV MIX』のリアルタイム配信を、アジア圏のSVODサービスでは初めて開始														
6月1日	ネ放	関西テレビとGYAO 関西テレビのVODサービスとGYAOが提供する関西テレビの見逃し配信を統合し、「カンテレドーガ」として提供開始。双方のウェブページから視聴可能														
6月1日	放有	TBS-HD、J-COM、ジュピターゴルフネットワーク(JGN) ゴルフ専門のCSチャンネルを持つJGNと「マスターズ」の独占放送権を持つTBSが、サービス拡大を目的にゴルフ事業で業務提携														
6月1日	ネ	Perform「DAZN」がApple TVにも対応を開始。アプリをダウンロードするだけで視聴可能になる。また、iPhoneとiPad用アプリもアップデートし、料金支払い機能や番組表機能などが追加された	○	○												
6月2日	ネ	HJホールディングス「Hulu」アップデート後の不具合対応として、1か月分の「Hulu」視聴チケットやAmazonギフト券(1000円分)などを提供すると発表。対象は5月31日までに不具合を感じた利用者														
6月2日	ネ	HJホールディングス「Hulu」で国内のSVODでは初となる『CNN/US』と『日テレ NEWS24』のリアルタイム配信を開始。3月から開始していた『BBCワールドニュース』と合わせて3つ目のニュース番組														
6月4日	放	NHK 360度カメラで撮影した『知られざるトランプワールド』を6月4日と11日にBSで放送。また、NHKとしては初めて放送と同時にスマホ向けに360度映像を配信	○													
6月7日	有	J-COM 4Kの実用放送開始に合わせて、4K・8K対応の第3世代STBを開発中であると発表。現在のSTBでは非対応のHDRや番組の横断検索機能、パーソナライズ機能などに対応する予定		○												
6月9日	ネ放	AbemaTV 7月14・15日開催のプロ野球「マイナビオールスターゲーム2017」の第1戦と第2戦をAbemaGOLDチャンネルで生中継すると発表。「AbemaTV」でのオールスター戦中継は2度目														
6月10日	メ	ソニー シリーズ初の4K有機ELテレビ「BRAVIA A1」を発売。4K放送の対応のほか、Android TV機能も搭載し、動画配信サービスなども利用可能。店頭価格は65型が約80万円、55型が約50万円														
6月12日	放	朝日放送(ABC)、ABCフロンティアHD、MBCメディアエンタテインメント 3社がベトナムに映画製作やタレントマネジメントを行う合弁会社MBC-Studioの設立に合意し、契約締結を発表														
6月13日	放	NHK 同時配信の「試験的提供」実施基準に関する変更案を策定し、パブリックコメントの受付開始。新たに「A②」としてビョンチャン五輪でのシステム負荷の検証、「B」では地域放送番組を配信。新設の「C」では五輪の4K配信などから技術課題を検証する。6月27日まで受付														
6月14日	ネ	GYAO 映像配信サービスの「GYAO!」でBSの「Dlife」で放送している海外ドラマの見逃し配信を開始。「Dlife」での放送終了後に1週間無料で楽しめる														
6月15日	ネ	Perform「DAZN」を運営するPerformが欧州サッカーの「チャンピオンズリーグ」など3タイトルの独占放送権を獲得したと発表した。これに伴い、スカパーJSATは3タイトルについての配信権を失った														
6月15日	放	NHK NHKのニュースや防災情報を伝えるアプリ「NHKニュース・防災」をリニューアル。地震情報などを地図上に表示するマップ機能や熱中症情報などをプッシュ通知の内容に加えた														
6月16日	広	電通 AIを使って高精度に番組視聴率を予測する「SHAREST(β版)」を開発したと発表。過去の視聴率データなどを利用し、視聴率の予測やターゲット別の広告割り当てが可能になる														
6月16日	有	スカパーJSAT ドイツのプロサッカーリーグ、ブンデスリーガの2018/2019以降2シーズンの独占放送権と配信権を獲得したと発表。リーグ戦に加え、ハイライト番組などの権利も含む														
6月19日		インプレス総合研究所 動画配信サービスの利用動向などを纏めた報告書を発売。有料動画配信サービスの利用率は9.6%と上昇傾向で「Amazonプライムビデオ」が最も利用されていると報告														
6月19日	通	KDDI総合研究所 世界で初めて8Kのマルチアングル映像に対応したリアルタイムエンコーダーを開発したと発表。将来的にはスタジアムでの試合を好きなアングルの映像で視聴できるようになる														
6月19日	放	フジテレビ データ放送を利用して視聴エリアごとに異なる内容のテレビ広告を放送する「エリアメセージCM」を関東1都6県で放送。地デジでの実施は初めて。エリア別の広告をマス媒体を通じて届		○												
6月20日	ネ放	エイベックスとNTTドコモ、フジテレビ「dTV」と「FOD」によるオリジナルドラマの第2弾「パパ活」を共同制作・配信を開始。1話30分、全8話構成で毎週月曜更新														
6月21日	放	TOKYO MX サイマル配信サービスの「エムキャスト」で群馬テレビと奈良テレビの番組を7月から配信すると発表。地上波放送局の参加は広島ホームテレビに続き3局目														
6月22日	ネ	LINE「LINE LIVE」がPCからのライブ動画配信に対応を開始。従来はモバイルアプリからの配信のみだった。PC版では、ゲームの実況中継やアプリ版よりも長時間の配信が可能になる														
6月27日	ネ	LINE「LINE NEWS」に「TOKYO MXニュース」など30の媒体が参加。ニュースを配信するメディア数は合計で201になった。これにあわせて、動画ニュースの配信も開始した														
6月27日	放	NHK NHK受信料制度等検討委員会が作成した常時配信化に伴う受信料負担の在り方に関する答申案への意見募集を開始。答申案では、既に受信料を支払っている視聴者は負担せず、未払いの視聴者は負担する方式に「一定の合理性」を示した														
6月30日	ネ	パケットビデオ・ジャパン 2015年9月から提供していた映像配信サービス「bonobo」がサービス終了。利用者はNTTぷららの「ひかりTV」に契約を移行することで一部を除く番組の視聴が可能														

2017年7月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソニーチャル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービス	通信インフラ・モバイル端末	
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)									
7月1日	放	エフエム和歌山 コミュニティFM放送を運営するエフエム和歌山で、AIアナウンサー「ナナコ」による放送を開始。原稿の自動読み上げ機能から、天気予報やニュースを伝えていく。AmazonがAWSを通じて提供するAI「Amazon Polly」を利用した															
7月1日	放メ	南海放送ラジオ、共同通信デジタル、ソニー パーチャルアナウンサーがニュースを自動音声で読み上げる「アバターエージェントサービス」の実証実験を開始。同サービスを用いたラジオ放送は全国で初めて。データ入力のコストや自動音声リスナーが理解できるかなどを検証する															
7月1日	ネ	楽天 映像配信サービスの「楽天SHOWTIME」の名称を「Rakuten TV」に変更した。ブランド力の向上が目的。名称変更に合わせて抽選で野球観戦チケットなどが当たるキャンペーンを実施															
7月3日	ネ放	AbemaTV 将棋の藤井聡太四段が連勝記録更新をかけた佐々木勇気五段と対局した際の番組総視聴数が1242.5万件となり「AbemaTV」全体でも歴代2位の視聴数を記録したと発表した															
7月3日	放メ	フジテレビ 「PlayStationVR」用アプリ「ほんとにあった怖い話 presents 乃木坂46 VRホラーハウス」をPlayStation Storeで販売開始。乃木坂46のメンバーと心霊スポット取材に訪れる内容															
7月3日	ネ放	フジテレビとユーザーベース「ホウドウキョク」と経済ニュース配信サービス「NewsPicks」が共同で経済ニュース配信チャンネル「Live Picks」を提供開始。毎週月曜日から木曜日の22時から30分間、経済ニュースを中心に生配信する															
7月4日	公	総務省 「放送を巡る諸課題に関する検討会」会合でNHKの同時配信に関する答申案について、高市大臣が全体像に具体性が欠けていると批判を呈した。受信料型の料金体系とする点についても、通信と放送の法的な違いやネットにおける公共性についての検討が必要であると指摘															
7月4日	放メ	シャープとNHK シャープとNHKが放送技術分野で第43回放送文化基金賞を共同で受賞した。両者が共同開発した8K対応の専用チューナーが全国での8K試験放送に貢献したことなどが評価された															
7月6日	有	WOWOW 子会社のIMAGICAティーワイと運営チャンネルの名称を10月1日に変更と発表。新社名は「WOWOWプラス」、「イマジカBS・映画」チャンネルは「シネフィルWOWOW」に改める															
7月7日	放ネ	日本テレビ、NTTレゾナント、フォアキャスト・コミュニケーションズ 新ドラマ「過保護のカホコ」の主人公と会話可能な「AIカホコ」が「LINE」で提供開始。メッセージを送るとAIが応答する。ドラマが進むごとに脚本内容などを学習し、返答内容が変わる。こうした運動サービスは放送業界初															
7月7日	放	フジテレビ 「FOD」で子供向け番組を充実させた「キッズ」ジャンルを新設。約300タイトル、5000コンテンツ規模の作品を配信する。家庭でのコンテンツ視聴の需要が増していることに対応した															
7月8日	放	朝日新聞社と朝日放送 第99回全国高校野球選手権大会をライブ中継する「バーチャル高校野球」が朝日新聞デジタル内でサービス開始。全国大会の全試合や地方大会の決勝などを配信															
7月10日	有	スターチャンネル SVODサービス「スターチャンネルオンデマンド」が「Fire TV Stick」に対応開始。「スターチャンネル」は映画専門の3チャンネルで構成され、利用料は月額2484円															
7月11日	公	総務省 災害時に地方自治体が避難指示・勧告情報を放送局などへ伝達する基盤である「アラート」について、2017年6月末時点での普及率を公表。44都道府県で運用されていることや情報の伝達を行う機関が678件と増加傾向にあることなどを発表した															
7月12日	メ	メディアキャスト 2018年12月開始のBS4K・8Kのデータ放送コンテンツの動作検証を行うソフトウェアを開発したと発表。放送されるコンテンツが4K・8K受信機で実際に処理できるか検証する															
7月12日	公	総務省 ブロードバンドを活用した放送サービスの技術課題の検証について、公募していた実証事業の結果を公表。4Kコンテンツの同時配信、効率的なコンテンツ配信形式の検討、視聴データ活用などの3類型で13件が採択された。2017年中に実証実験が開始される															
7月13日	ネ	GYAOとヤフー 「Yahoo映画」の新サービスとして利用者の登録情報から新作映画や「GYAO!」内での配信情報を通知する機能を追加した。利用者が「Yahoo映画」内の各作品情報にチェックを入れることで、新作映画の公開日情報や配信情報を受け取れる															
7月14日	有	ジェイ・スポーツ 第88回都市対抗野球大会の全試合生中継を開始。配信サービス「J SPORTSオンデマンド」でもライブ配信を行う。オンデマンドの料金は月額1800円(25歳以下900円)															
7月14日	放	毎日新聞 第88回都市対抗野球大会の全試合を毎日新聞社のウェブページでライブ配信開始。試合後にはダイジェスト動画も配信する。視聴料金無料で、配信以外に写真特集など楽しめる															
7月18日	ネ	Perform 「DAZN」で7月18日から31日まで開催される欧州サッカーの「インターナショナル・チャンピオンズ・カップ(ICC)」全試合を配信開始。「ICC」は2013年から始まった欧州サッカーのオフシーズン試合で、シーズン開幕前に強豪クラブが集まる試合として注目されている															
7月18日	ネ	HJホールディングス 映画「スパイダーマン」の新作が公開される事を記念して、「Hulu」で8月4日から9月3日まで、「アイアンマン2」などマーベルスタジオの映画10作品を配信すると発表した															
7月18日	広	博報堂生活総合研究所 関東圏の小4から中2までの800人を対象にメディアへの信頼性などを調査した「子ども20年変化」を発表。「テレビの話は本当のことが多い」の質問で肯定的な結果が7割を超え過去最高。また、ネット利用時の端末はスマホが過半数で1位、2位がゲーム機だった															
7月19日	放通	NTTドコモとフジテレビ 8月4日から6日まで開催する音楽フェスティバル「TOKYO IDOL FESTIVAL 2017」で5Gを利用したARアプリ「JidorAR」を提供と発表。利用者は事前に自分の3Dモデルを取得しておくことで、ライブ会場上のアイドルと一緒に踊る自身の3D映像を視聴できる															
7月20日	有	スカパーJSAT 4Kチャンネルに対応する新型チューナーの販売・レンタルの受け付けを開始。同社提供チューナーで初めて4K対応のダブルチューナー機能を搭載。2番組の同時録画が可能となった。2017年冬以降にはソフトウェアをダウンロードすることでスマホ視聴にも対応する予定															
7月20日	ネ	エイパックスとNTTドコモ 「dTV」で独占配信中のオリジナルドラマ「銀魂-ミツバ篇-」が配信開始初日の視聴者数で歴代1位を記録したと発表。また、「YouTube」で無料配信している同作品の第1話も配信3日間で200万再生を超えた															
7月20日	通	KDDI 音声認識機能とAndroid TVを搭載した「ケーブルプラスSTB」を、提携するケーブルテレビ事業者向けに提供開始。付属のリモコンに話しかけるだけで放送中の番組や録画番組、ネット動画が総務省 放送の視聴環境の変化などを踏まえて、情報通信審議会がまとめた今後の放送コンテンツの製作・流通に関する中間答申が総務省に提出された															
7月20日	有	日本デジタル配信と日本ケーブルテレビ連盟 約370のケーブルテレビ事業者が個別に管理している利用者IDを一括管理する「ケーブルIDプラットフォーム」の運用を開始。サービスの向上や全国展開が目的で、今年中にはケーブルテレビ事業者が行うスマホサービスなども開始予定															
7月20日	放	NHK 広島平和記念資料館と共同で被爆者らが書いた「原爆の絵」を8Kで撮影し、モニターとタブレットで見られる「インタラクティブ8Kビューアー」を公開。描かれた場所と日時、爆心地からの距離なども取り込み、広島の地図上に表示する。8月1日から16日まで平和記念資料館で展示															
7月21日	公	総務省 NHKの同時配信サービスの試験提供に関する実施基準に対して、総務省がまとめた考え方の意見募集を開始。受付期間は8月24日まで															
7月22日	ネ放	Jリーグ 「デジタル中継祭り」として鹿島アントラーズとセビージャFCの試合を「DAZN」や「ニコニコ生放送」、「Abema TV」、「360Channel」など複数の映像配信サービスで配信すると発表。Facebook、Twitterでも試合をライブタイム配信する。複数サービスでの中継ははじめて															
7月24日	有	ジュビターショップチャンネル 通販チャンネルの「ショップチャンネル」で紹介された商品を購入できるスマホアプリ「タッチでアプリ」の提供を開始。シニア層向けにタッチ操作のみで購入可能															
7月24日	放	エム・データ 現在提供しているテレビCMのメタデータを「タイムCM・スポットCM」に細分化して新たに提供を開始。CMを番組のスポンサーCM、番組内でのスポンサー以外のCM、番組間でのCMの3つに細分化。マーケティングの精度向上に活用できるデータとして提供する															
7月25日	放	NHK NHK会長の諮問機関である受信料制度等検討委員会が、同時配信に伴う費用負担の在り方についてパブリックコメントを加味した答申を会長に提出。費用負担の在り方については答申案を踏襲し、「一定の合理性がある」とした。また、答申案の2号、3号については継続してパブリックコメント															

2017年7月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	ハイブリットキャスト	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソーシャル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末	
						有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)								
7月25日	放	日本テレビ 10月13日までの限定サービスとして読売巨人軍主催の全試合を海外視聴専用で配信する【海外専用】巨人戦完全中継」を特設サイトでサービス開始。日本と台湾を除く全世界で巨人戦をライブ視聴できる。オンデマンド配信も実施し、価格は月額9.8米ドル				○		○	○								
7月26日	放ネ	日本テレビとHJホールディングス HJホールディングスが米Hulu、ヤフー、東宝、読売テレビ放送、中京テレビ放送の各社に第三者割当増資を実施したと発表。経営基盤の強化とコンテンツ制作や調達の強化などが目的				○											
7月26日		Wi-Fi Alliance 無線LANの業界団体Wi-Fi Allianceが2台のWi-Fi対応端末間で使用可能なワイヤレス動画転送技術である「Miracast」に4Kコンテンツの再生を対応させたと発表した。HDだけでなく4K作品のワイヤレス転送が対応端末間で可能となった											○				○
7月26日	ネ広	楽天と電通 データマーケティングに特化した新会社「楽天データマーケティング株式会社」を8月に設置、10月から営業を開始することを発表した。楽天が持つ顧客データとテレビ視聴率、購買データなどを紐づけることで広告の効果測定やプロモーション企画の策定・支援などに活用する															○
7月27日	ネ	サイバーエージェント 2017年度第3四半期決算報告で、「Abemaビデオ」にレコメンド機能や10月頃にはデータ通信の節約モードを搭載することを発表。また、「Abema TV」では6月の月間アクティブユーザーが900万人を超えたこと、オリジナル企画が視聴者を惹き付けたと発表				○			○								○
7月28日	放	フジテレビ 「FOD」のスマホアプリのダウンロード数が500万件を突破したと発表。新ドラマ『コードブルー』と同作の過去作品全話の配信を行ったことからダウンロード数が伸びた	○			○											
7月28日	有	東北新社 スーパーネットワーク、ファミリー劇場2社の放送事業の承継を取締役会で決定したと発表。スカパー・エンターテインメントの放送事業の一部を承継すること併せて3社の衛星基幹放送事業者の地位を東北新社が引き継ぐことになる。吸収は9月17日に実施予定															
7月31日	放	日本テレビホールディングス 「Hulu」の有料会員数が2017年6月末時点で154万7812人となり、2017年3月末から3787人減少したと発表。有料会員数が減少するのは日本テレビが取得して以来初めて。システム移行に伴うトラブルが原因で、現在は沈静化していると発表した				○											

2017年8月まとめ			マルチスクリーン化	スマートフォンテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービスインフラ・モバイル端末
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)							
8月1日	広ネ	電通、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)、Perform 電通とJリーグが、観戦するスタジアムのWi-Fiに接続すると「DAZN」が無料視聴できるスマホアプリ「Club J.LEAGUE」の提供を開始した。スタジアムでの観戦数に応じたポイント付与機能も搭載し、サッカー観戦の付加価値を高める狙い					○								○
8月1日	ネ通	ビッグロブとU-NEXT ビッグロブのモバイル通信サービス「BIGLOBE SIM」の「エンタメフリー・オプション」に「U-NEXT」が対応を開始。オプション利用者は「U-NEXT」利用時に通信量がカウント					○								○
8月2日	有	スカパーJUSATホールディングス 2017年3月期第1四半期の連結業績を発表。営業収益は前年同期比の6.3%減で371億9500万円。Jリーグの放送権を失ったことなどが影響したと報告した。累計加入件数も前年同期比で約16万件の減少となった													
8月3日	メ	ソニー テレビ番組やラジオ放送などでバーチャルアナウンサーの「沢村碧」が自動で原稿を読み上げる「アバターエージェントサービス」の提供を開始。原稿をキャラクターが自動音声で自然に発話し、動画として出力する。放送事業者などへ提供予定													○
8月4日	放	TBSテレビ 独占放送する世界陸上の番組サイトで、バーチャルアシスタントのAI「セリナ」によるチャットボットを提供開始。利用者が質問をテキスト入力すると、選手プロフィールなどを提示													○
8月5日	通	KDDIと北海道日本ハムファイターズ 日本ハム対オリックスの試合で4D REPLAY社の自由視点映像システムを利用した実証実験を実施。複数のカメラで撮影を行い、一つのシーンを様々な角度で再生できる。今回は球場にカメラ100台を設置。多角的に撮影・編集し、臨場感あるリプレイ画像を生					○								
8月6日	放	アマネク・テレマティクスデザインと未知倶楽部 全国の道の駅の情報を発信する新番組「せりかなの道の駅ソングブック」の配信を「Amanekチャンネル」で開始した。音声情報に加え、道の駅や関連施設の位置情報もデータ放送で配信し、カーナビ向けアプリと連携して目的地を設定できる					○								○
8月7日	ネ放	AbemaTV「AbemaTV」のアプリダウンロード回数が開局から1年4か月で2000万を突破したと発表した。これまで25チャンネルを開設し、累計配信番組数は29万件を突破。オリジナルのレギュラー番組を配信する「AbemaSPECIALチャンネル」が人気を集めた					○								
8月8日	ネ	Perform「DAZN」が「Playstation 3」と「Playstation 4」に対応したと発表した。「PlayStation Store」からアプリをダウンロードすると、ホーム画面に「DAZN」のアイコンが表示される	○				○								
8月9日	ネ	エイベックスとNTTドコモ「dTV」のVR視聴アプリ「dTV VR」をアップデート。画質の向上やインターフェイスの改良に加えて、従来はダウンロード再生のみだった視聴形態にストリーミング形式を追加した。また、再生位置を自由に換えられるシーク再生機能も加えた					○						○		
8月9日	ネ	HJホールディングスとカルチュア・エンタテインメント(C・E) C・Eが「Hulu」で配信されているオリジナルドラマのソフト化の権利を包括的に取得し、全国のTSUTAYA店舗などで先行レンタルを行うことに合意したと発表。第1弾は小栗旬主演の「代償」で、10月25日よりレンタル開始					○								
8月9日	ネ	Facebook 動画配信サービス「Watch」を開もなく提供すると発表した。アプリ内の「タブ」としてサービスが追加される。サービス開始当初の番組は約40件で、徐々に動画コンテンツを配信可能な利用者数を拡大していく方針					○		○						
8月10日	メ	ソノオネクスト データセンターでの映像データ処理の効率を従来の10倍以上に高めることが可能な「メディアクラウド」企画の推進を発表した。4Kなどの高画質映像の増加とその効率的かつ迅速な処理に対応することが目的で、実製品は2018年に稼働を予定					○						○		○
8月12日	ネ	Perform「DAZN」でイングランドのプレミアリーグの試合を配信開始。毎節最大5試合を配信する。これにより「DAZN」は日本で欧州5大リーグが視聴可能な唯一の動画配信サービスとなった					○								
8月15日	有	日本ケーブルテレビ連盟(JCTA) ケーブルテレビ業界共通の4K専門チャンネル「ケーブル4K」で、昨年に引き続き徳島市の阿波踊りを生中継。19日と20日には徳島の様子を4Kで撮った特集番組を											○		
8月16日	公	総務省 中小企業等経営強化法に基づき、日本ケーブルテレビ連盟を有線テレビ放送事業における経営力向上機関に認定したと発表													
8月18日	有	WOWOW ハイブリッドキャストを活用した4K同時配信と2Kマルチアングル映像の生配信の実証実験を行うと発表。4K同時配信ではラグビーの試合を配信し、2K生配信では通常は加入者向けサービス向けの複数試合配信サービスを用いて、テニス試合を複数のアングルから同時に配信					○						○		
8月18日	放	テレビ大分 テレビ大分のスマホ向けアプリ「TOSアプリ」のダウンロード数が2017年1月の配信開始から累計1万回を突破したと発表。「TOSアプリ」はテレビ局と視聴者のコミュニケーションアプリで、ニュースや気象情報を得られるだけでなく、視聴者側から番組へのコメントや動画の投稿ができる					○		○						○
8月19日	ネ	Perform「DAZN」でドイツサッカーリーグのブンデスリーガの2017/2018シーズンを独占ライブ配信すると発表した。同リーグは観客動員数で世界一を記録する人気リーグのひとつ					○		○						
8月20日	ネ放通	朝日放送、アクトビラ、JOCNDN 朝日放送が民放で初のハイブリッドキャストによる4Kライブ配信を第99回全国高等学校野球選手権大会で実施。関西地区限定で、20日の準決勝と21日決勝戦を配信					○						○		
8月22日	ネ放	AbemaTVとPerform「DAZN」で独占中継されるフロイド・メイウェザー対コナー・マクレガーの試合を「AbemaTV」が8月30日に時差配信すると発表。また、「DAZN」側が制作した特集番組4作品を「AbemaTV」で23日から25日まで配信する					○		○						
8月22日	有	NTTぷらら「ひかりTV」の4K放送サービスの対応機器にパナソニックの「4Kビエラ」を追加し、サービスの提供を開始した											○		
8月23日	有	日本デジタル配信(JDS)、IBLJ、愛媛CATV、エス・アイ・ジェイ(SIJ) 地域BWAとJDSのマルチデバイス向け配信システムを利用して、コミュニティチャンネルの映像と視聴者が撮影した別視点の映像をスマホ向けに全国配信。23日、26日、27日の四国プロ野球独立リーグの試合を行う	○				○		○						○
8月24日	放	在京民放5社「TVer」のアプリ累計ダウンロード件数が850万を突破したことを発表。合わせて2017年5月の月間再生回数が1800万を超えたと発表した。アプリとウェブ版の機能もリニューアルし、レコメンド機能やSNSとの連携機能などを実装した					○								
8月25日	ネ	J-WAVE IBMのAI「Watson」を使って開発したAIアシスタント「Tommy」を同局の「INNOVATION WORLD」にレギュラー出演させると発表した。番組ゲストのSNS分析から性格診断を行うことや音楽データを学習し、番組で流す楽曲の選択などを行う					○		○						○
8月25日	公	総務省 7月11日から8月9日までに実施した地上基幹放送分野の経営力向上に関する指針への意見募集について、寄せられた意見とそれに関する情報18件を公表した													
8月27日	ネ	Perform「DAZN」で元ボクシング5階級王者フロイド・メイウェザー対UFCの2階級王者コナー・マクレガーの試合を独占生中継で提供					○		○						
8月28日	メネ	サムスン、パナソニック、20世紀フォックス、Amazon サムスンとAmazonが「進めている新しいHDR規格「HDR10+」の推進にパナソニックと20世紀フォックスが参画と発表。「HDR10+」はシーンごとに高輝度かつ広い色域の映像を提供できる新しいHDR規格で、2018年1月にライセンス提供を開始する											○		
8月28日	ネ	ヤフー 災害時には画面トップに「日テレNEWS24」のライブ動画を掲載する機能を「Yahoo!ニュース」アプリに追加されると発表。災害時にアプリ内の「Yahoo!ニュース 動画」タブを目立つ位置に掲載し、今後は注目される記者会見など災害以外の場面でもライブ配信を行う予定	○				○		○						
8月29日	ネ	Perform「DAZN」の契約者数が日本でサービスの開始から1年間で100万件を超えたと発表した。Jリーグや欧州サッカー5大リーグなどに加え、多様なスポーツコンテンツを配信。対応デバイスも拡充し現時点でスマホとタブレットが49%、パソコン33%、テレビ18%の利用率であると報告					○		○						
8月29日	放	フジテレビ フジテレビで放送中のドキュメンタリー番組「ザ・ノンフィクション」を「FODプレミアム」で配信開始。当初は2016年までに放送した中から11本を配信する					○								
8月29日	ネ	ニールセンデジタル ニールセンデジタルが「AbemaTV」の利用状況を発表。月間利用者数が2017年7月で475万人となり、利用者の拡大と定着傾向を指摘した。また、利用者割合でも男性が約6割、女性が約4割であることや年齢別でも各世代に広がりを見せていることを指摘した					○		○						
8月29日	ネ	Google「YouTube」のスマホアプリがアップデート。ブラウザ版で実装されていた再生速度が調整できる機能や縦表示動画のフルスクリーン再生、ダブルタップで早送り・巻き戻しの操作などができる					○		○						

2017年8月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化					録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末サービス
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)								
8月29日	ネ	サイバーエージェントとC Channel 20代から30代の女性をターゲット層としたスマホ向け動画広告の制作と提供を共同で開始。サイバーエージェントの「ameba」には女性ユーザーが多く、C Channelのスマホ向け短縮動画コンテンツの制作ノウハウと掛け合わせる狙い					○			○						
8月29日	放	CBCテレビ 女性向けに東海エリアの情報を発信するポータルメディア「CUCURU」のアプリを配信開始。2016年からウェブ版を運営していたが改めてアプリを配信した。記事検索や通知機能も利用で	○				○									○
8月31日	メ	ビクセラ 「Microsoft Azure」をベースにテレビ視聴データを解析する「テレビ視聴データサービス」をウェブ上で公開開始。ビクセラ製のチューナーから利用者のテレビ視聴データを収集・解析することで、全国や地域ごとの番組視聴ランキングがリアルタイムで把握できる														○
8月31日	メ	シャープ 8K対応液晶を搭載した「AQUOS 8K LC-70X500」を12月1日より販売開始すると発表。一般向けに8K対応テレビが発売されるのは初めて。2018年12月からの8K実用放送にも現在開発中のチューナーを別途組み合わせることで対応する。店頭販売価格は100万円前後											○			
8月31日	公	総務省 中小企業等経営強化法に基づき、放送サービス高度化推進協会(A-PAB)を地上基幹放送分野における経営力向上推進機関に認定した														

2017年9月まとめ			マルチスクリーン化	スマートフォンテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)					
9月1日	放メ	ニッポン放送、Cerevo、グッドスマイルカンパニー 3社がクラウドファンディングを活用して制作したワイドFM対応ラジオ「Hint BLE Radio」が発売。無線通信でスマホなど外部機器の音声も再生ができる。価格は22000円					○						
9月1日		ビクターエンタテインメント「ドラマ『逃げるが恥だが役に立つ』のエンディングテーマを使ったネット上の投稿動画に対して、著作権元のビクターが削除要請を出していたことを公表。ドラマ終了時の2016年12月末まで視聴者による動画投稿を許可していたが、これまで削除要請を留保							○				
9月4日		NexTone 音楽著作権管理事業者であるNexToneがYouTubeと動画視聴数に応じた著作権料の支払いに関する利用許諾契約を締結したと発表。YouTubeのシステムを利用して、視聴数に応じた著作権料が作品管理者に支払われる仕組み					○						
9月5日	ネ	HJホールディングス「Hulu」でバレーボールの世界4大会の一つ「ワールドグランドチャンピオンズカップ 2017」をリアルタイム配信。日本チームが出場する試合ではネットに取り付けたカメラからの映像を配信するマルチ視点サービス「4 EYES for Hulu」を専用アプリを通じて提供する			○		○						
9月6日	ネ	ビデオマーケット 動画配信サービス「ビデオマーケット」での配信作品数が18万本を超えたと発表。今後週に500本以上の新作作品を追加していく予定					○						
9月6日	ネ放	CBCテレビ 中部日本放送、インターネットインシアティブ、シグマックス、ベクテ 総務省によるブロードバンドの放送活用事業の一環として、視聴データや視聴者の行動データを用いた実証実験を開始。9月と10月に旅番組を放送し、その後スマートフォン向けサービスを提供。観光地誘致に繋がるかをWOWOWとアクティバ 8月に行った4Kハイブリッドキャストを用いたサイマル配信と2Kライブ配信の実証実験結果を報告。サイマル配信については、4Kとハイブリッドキャストに対応するテレビ環境を持つ世帯の8割が視聴していたと報告し、2Kライブ配信についても好感触であると報告した					○					○	○
9月7日	有ネ	Google「YouTube」のライブ配信機能に遅延モードを追加。これにより、配信のラグが数秒程度に短縮されると発表。またコメント機能も利用者が管理できるよう一時停止機能などを追加					○						
9月7日	ネ	毎日放送 寺社を舞台にした音楽イベント「音楽舞台」の実施前に4Kライブビューイングを実施。複数映像・音声を用いたライブビューイングの有効性や課題検証が目的で、舞台上に設置した4Kカメラ3系統の映像を毎日放送本社のスクリーンに投射する					○						
9月9日	放	フジテレビとPalabra 映画『三度目の殺人』で聴覚などに障害を持つ人でも映画を楽しめるバリアフリー上映アプリ「UDCast」を初めて導入。同アプリはスマホのマイクで音声を拾い、字幕や手話を表示するサービス。利用者が「UDCast」を入れた端末を持参することで字幕や音声ガイドを利用できるエリクソンとJ-COM エリクソンの「MediaFirst TV プラットフォーム」がJ-COMに採用されたと発表。同プラットフォームはマルチスクリーンやパーソナライズ機能で受賞歴があるサービスで、J-COMのサービス戦略に合うことから採用された。2017年第3四半期から両社での基本設計を進める			○								○
9月12日	有メ	NHK 受信料制度等検討委員会が会長として「公平負担徹底のあり方について」の答申(2号答申)と「受信料体系のあり方について」(3号答申)を提出した。メディア環境や同時配信化などの変化に伴う受信料負担が焦点							○				
9月12日	放	内閣官房 菅義偉官房長官が記者会見で電波周波数の競売による権利購入を行う「電波オークション」の導入について海外の動向も参照しながら前向きに検討したいとする姿勢を示した											
9月13日	公	総務省 NHKから申請を受けた同時配信に関する実施基準変更案について認可を実施。変更点は試験的提供Aで平日5輪の配信を1日16時間以内にする点や、試験的提供Bで1日20時間の配信に拡大した点。加えて試験的提供Cでハイブリッドキャストを用いた4K配信を行うよう変更した					○						
9月13日		日本新聞協会 日本新聞協会メディア開発委員会がNHK受信料制度検討委員会の提出した答申に対して「公共メディア」としてのあり方やそれを支える受信料制度に関する記述がない点を指摘し、具体的な制度を求めるとの見解を示した					○						
9月14日	放広メ	テレビ朝日、電通、電通テック、エーラボ 新ドラマ『トットちゃん!』の放送が10月に始まることを記念し、黒柳徹子氏を模したアンドロイド「totto」を共同開発。『徹子の部屋』の会話データと音声合成技術により、会話が可能となった											○
9月15日	メ	ソニー 新開発の8Kイメージセンサーを搭載したカメラシステムの販売を10月から開始と発表。8K120pとHDRによる撮影機能に加え、4Kにも対応するため他の4K対応カメラとの連携も可能。また、8K映像から任意の4K映像を取り出すこともできる。価格は4,800万円											○
9月19日	ネ放	ABCドリームベンチャーズ 広報サービス会社のPR Table社へ出資を行ったと発表。PR Tableは商品開発の経緯や企業文化など組織の情報発信サービスを行う会社で、同社独自の「ストーリーテリング」のノウハウを取り入れることで新たなメディアサービスの展開を模索											
9月19日	放	アニマックスブロードキャスト・ジャパン 「PlayStation 4」向けのアニメ専門チャンネルとして「アニマックス on PlayStation」を12月1日に開設と発表。同チャンネルは「PlayStation Network」初のアニメ専門チャンネルで、リアルタイムとオンデマンドの視聴形態に対応する。利用料は月額500円					○						
9月20日	公	総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」の第17回会合が開催。NHKから同時配信の実施について、当面は既に受信料を払っている視聴者への追加負担を求めず、未払い者への徴収も保留と報告した。改めて総合とEテレビの配信を2019年中に始めたいとする意向を示した					○						
9月20日	放	NHKとradiko、日本民間放送連盟 10月2日から「radiko」でNHKラジオを実験的に配信すると発表。配信地域は1都6県と福岡など他の5地域で、無料配信のコンテンツのみ配信する。今回の試みは民放連の「NHK・民放連共同ラジオキャンペーン」の一環で、配信期間は2018年3月末まで					○						
9月20日	公	総務省 2018年以降の字幕・解説放送の普及を推進するための行政指針を纏める「視聴覚障害者等向け放送に関する研究会」を開催。視覚障害者向けの放送企画などが目的											
9月21日	放	NHK 同時配信の実証実験を開始することを発表。期間は10月30日から11月26日で、1日20時間の配信を行う。配信番組は総合とEテレビに加え、大阪局と静岡局の地域番組も配信する。また両局では制限付きの地域番組配信と制限のない配信の2つを提供する。見逃し配信や早戻し配信も実施					○						
9月21日	ネ	niconico 「ニコニコ生放送」での任天堂著作物を利用した動画配信について包括契約を締結。2014年にも動画配信で同様の契約を締結していたが、今回は「生放送」での配信について合意					○						
9月21日	メ	キャンソン スポーツ競技上などのマルチ視点サービスを提供可能にする「自由視点映像生成システム」を開発中と発表。競技場を囲むように設置した複数のカメラ映像から3D空間映像を生成することで、利用者が視聴したい位置で自由に観戦できるようにする											
9月22日	メ	Apple 4KHDRに対応したApple TVの第5世代モデル「Apple TV 4K」の販売を開始。「iTunes」ではHD版と4Kコンテンツを同一価格で販売する。価格は1万9800円(32G)と2万1800円(64G)											○
9月22日	ネ	サイバーエージェント プロレス団体「DDT」を運営するDDTプロレスリングの全株式を9月1日付で取得し、完全子会社化したことを発表。今後は「AbemaTV」で「DDT」の試合を配信していく											○
9月23日	放通	TBSテレビとNTTドコモ TBSテレビのマルチ視点映像配信技術「Live Multi Viewing(LMV)」と大量のトラフィックを処理可能なNTTドコモの「高密度Wi-Fi」を利用した実証実験を開催。競技場内の観客が持つスマホやスマートグラスにテニス試合のライブ映像やリプレイ、競技情報などを提供					○						○
9月23日	放	名古屋テレビ放送 自社イベント「メ〜テレ秋まつり2017」で4Kハイブリッドキャストによるライブストリーミングの公開テストをケーブルテレビ経由で実施。今回の取り組みは総務省の「ブロードバンドの活用による放送サービスの高度化に向けた技術等検証事業」の一環					○						○
9月25日	広	博報堂DYMPT テレビ視聴ログとウェブ閲覧データなどを統合して効果的な広告提供・分析を行うサービス「Atma(アトマ)」を開発したと発表。ネットでの行動データなどを集約して「生活者データ・マネジメントプラットフォーム」に100万台規模のテレビ視聴データを統合した											○

2017年9月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化					録画視聴化	分散型化	ソーシャル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービス	通信インフラ・モバイル端末	
					ハイブリットキャスト	有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)									
9月25日	有	放送・通信連携テレビ地域情報サービスプラットフォーム普及推進機構(テレブラ機構) ケーブルテレビやスマートテレビなどを活用した公的個人認証サービスの普及・利用実現を目指す「テレブラ機構」が設立総会を開催した																○
9月25日	ネ放	AbemaTV 元SMAPメンバーの稲垣吾郎、草彅剛、香取慎吾の3名が出演する『72時間ホンネテレビ』の配信を11月2日から5日まで3日通して行うと発表。3名がネット配信番組に主演することは初めてであり、「AbemaTV」の配信時間としても過去最長の番組となる予定							○									
9月26日	広メ	アドストリームジャパンとソニーPCL 10月から始まる放送局でのCM素材のオンライン上でのやり取りについて、CMファイルの送稿事業を行うアドストリームと映像技術サポート事業を担うソニーPCLが協力体制を取ることを発表した																○
9月27日	放ネ	フジ・スタートアップ・ベンチャーズ、トランスコスモス、チームラボ AIの機械学習向けコンサルティング事業を行う新会社「マシンラーニング・ソリューションズ」を共同で設立したと発表。AIを扱うベンチャー企業への投資事業なども行う																○
9月28日	ネ	DMM.com ライブ配信サービス「LIVE commune」をiOS向けアプリとして配信開始。配信映像に加えて配信者と視聴者がコメントやスタンプを投稿することでコミュニケーションを図る。配信者は配信中に得たポイントを多様な特典と交換することができる							○		○							
9月28日	メ	シャープ スマホ向けアプリ「COCORO VISION」を11月に提供開始と発表。同アプリは11月11日発売の「4K AQUOS」の5モデル対応のアプリで、利用者の好みを学習し、お勧め番組をスマホに表示する。スマホからのテレビ操作も可能で、テレビ側のアプリを操作するリモコンとしても使用できる		○														○

2017年10月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型ソリショナル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービスインフラ・モバイル端末
					有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)						
10月1日	有	スターチャンネル 独自インフラを用いたケーブルテレビ利用者向けの配信サービスを開始。「スターチャンネル」で扱う作品をスマホやパソコンなどからも視聴可能にする。既に契約している利用者は追加料金なしで視聴可能	○			○								
10月2日	メ	NEC テレビ広告素材をオンラインでやり取りする制度が導入されたことを受け、広告会社、放送局、制作会社間での広告素材取引をクラウドで行える「テレビCMオンラインサービス」の提供を開始。専用サイトから広告素材をアップロードすることで全国の放送局に共有化することができる												
10月2日	広	博報堂DYMP ラジオ番組などを無料視聴できる「ラジオクラウド」のコンテンツ提供会社が11社から64社に拡大。これにより地上波ラジオ局の約6割が視聴できるようになった。同サービスは2017年1月から開始され、8月末時点のアプリダウンロード数は27万件で、月間ユーザー数17万人					○							
10月2日	ネ	IPG IPGが提供する電子番組表サービス「Gガイドモバイル」が「TVer」の見逃し配信機能と連携を開始。「Gガイドモバイル」の番組表から見逃した番組を「TVer」で再生できるよう導線が形成した。これにあわせて過去7日分の番組表を表示できる機能を追加した					○							○
10月2日	放	NHK 「NHKワールドTV」のオンデマンド配信で中国語やスペイン語など新たに5ヶ国語を追加。これにより7言語での配信体制となる。対象番組は「#TOKYO」など日本の観光地や最新情報を取り上げる5番組で、吹き替えまたは字幕で配信する。2020年五輪を前にした情報発信が目的	○				○							
10月3日		radiko 過去1週間以内の既放送番組が視聴できる「radiko」の「タイムフリー視聴機能」がアップデート。従来は連続で最長3時間までしか視聴できなかったが、アップデートにより視聴開始24時間以内なら連続・分割どちらでも合計3時間まで視聴できるようになった					○	○						
10月3日		TiVo 電子番組表サービスなどを提供するTiVoが音声入力とレコメンド機能を搭載した新サービス「Personalized Content Discovery」を開発・提供していくと発表。提供先の配信プラットフォーム内で視聴可能な作品を対象に利用者の傾向に沿ったお勧め番組を表示する。音声認識検索に対応												○
10月4日	ネ	Amazon 日本未公開映画を期間限定(約1ヶ月間)で配信する新しい映像配信サービス「Amazonビデオ ミニシアター」を開始。レンタル価格は1本当たり1400円で再生開始から72時間の視聴が可能。配信映画の第一弾はソニー・ピクチャーズの『ビリー・リンの永遠の一日』					○							
10月4日	ネ	Spectee みずほキャピタルやYJキャピタルなどから総額2億6000万円の資金を調達したことを発表。同社は報道機関向けなどにニュース関連情報を提供している企業で、今回調達した資金の一部は自社サービスで用いるAIの開発促進に当てる予定												
10月5日	ネ	Amazon Amazonプライム会員向けの新サービスとして電子書籍が読み放題となる「Prime Reading」の提供を開始。電子書籍数百冊が読み放題となる。従来も「Kindle Unlimited」として月額980円の読み放題サービスを提供していたが、新サービスはプライム会員登録のみで利用可能					○		○					
10月5日	放	TBSテレビ TBSテレビの海外事業公式Facebookページの「いいね！」数が100万件を突破。同ページは2012年に設置されて以降、海外向けにTBS作品の紹介や事業情報などを発信してきた。「いいね！」を押した利用者の99%以上が海外の利用者だった								○				
10月6日	放	NHK 新しく放送が開始された連続テレビ小説『わろてんか』の撮影現場を4KのVR動画として紹介する映像が公開。撮影現場の様子を360度見渡すことができる									○	○		
10月9日	有	NTTぶららとアイキャスト 「ひかりTVチャンネル 4K」で両国国技館で開催される新日本プロレス主催の試合を生中継。プロレスの試合が4Kで生中継されるのは国内では初めて										○		
10月10日	放	アマネク・テレマティクスデザイン 榎原中継局の開局により、「i-dio」の放送エリアが東京都西部へ拡大した。これにより、甲信越ブロックは3局での放送体制となり、受信環境が良好になった						○						
10月11日	放	東京メトロポリタンテレビジョン 同時配信サービス「EMキャスト」で、地上波とは異なる編成での番組配信を試験的に実施。対象チャンネルは「TOKYO MX1」で、11月11日までの朝6時から夜24時の時間帯に、独自編成での配信を行う。配信作品の第1弾はショートアニメ「ねこねこ日本史」						○	○					
10月11日	ネ放	AbemaTV 完全オリジナルドラマ『声だけ天使』を「AbemaTV」で配信すると発表。同社が企画段階から独自に連続ドラマを制作するのは初めて。声優志望の主人公を軸にした青春ドラマで、制作費は3億円以上。2018年1月から10週にわたって配信する予定							○					
10月12日		ビデオリサーチ ビデオリサーチの保有するテレビ視聴データと他の顧客企業が持つ自社メディア媒体の消費者行動データなど複数のデータを統合・解析する「VR LINC」の提供を開始。自社メディアとマスメディアのデータを併せて解析することで、デジタル広告企画などに利用する目的												○
10月14日	ネ	HJホールディングス 「Hulu」でオートバイ世界選手権「MotoGP日本GP」の予選と決勝戦のリアルタイム配信を実施。通常の映像に加えて、選手の現在位置のCG画像の表示、空撮映像、車載カメラからの映像などマルチアングル映像で配信する						○	○					
10月16日	有	日本ケーブルテレビ連盟とケーブルテレビ各社 ケーブルテレビ事業者による地方創生企画の運営資金を支援する「ケーブルクラウドファンディングコンソーシアム」の設立総会を開催。各事業者から提案された企画を審査し、支援の有無を決定する。サービス運営は日本デジタル配信が担当												
10月17日	放ネ	関西テレビとGYAO 新ドラマ『明日の約束』の放送開始に合わせてネットとの連動企画を実施。本編放送後1週間は、両社が設けたドラマの特設サイトで無料見逃し配信を行う。また本編と関連するスピンオフ作品を共同制作し、「GYAO!」で独占無料配信する						○						
10月17日	有	ディスカバー・ジャパン 「ディスカバー・チャンネル」のデジタルメディア版を開始し、「ディスカバー・チャンネルNEWS」を「LINE」上に開設した。デジタルメディア版では公式サイトで放送チャンネルには無いオリジナルコンテンツも配信する								○				
10月17日	広	電通デジタルと博報堂DYホールディングス AIを扱うアメリカのDataRobot社とパートナー契約を締結。電通と博報堂の保有するテレビ視聴データや購買データなどをAIサービスの「DataRobot」で読み込ませ、マーケティングサービスの精度向上に活用する目的												○
10月17日	ネ	ヤフー 「Yahoo!ニュース 動画」で『TBSニュースバード Everywhere LITE』のニュース動画を配信開始。配信時間は朝5時から夜の24時まで	○					○						
10月18日	ネ	楽天 アメリカNBAと日本での独占的な映像配信契約を締結。「Rakuten TV」で1週間に9試合分を日本語解説付きで配信するサービス(ライブ・オンデマンド配信、月額972円)を開始した。また、NBAの映像配信サービス「NBA LEAGUE PASS」へは楽天IDから入れるよう導線を構築した						○		○				
10月18日	放	名古屋テレビ放送 テレビ朝日系列の中部ブロック5局で、ハイブリッドキャストによる放送と連動する複数の4K映像の配信を実施。複数局が同時に通常放送と並行で4K配信を行うのは民放では初めて。総務省のブロードバンドを活用した放送サービス高度化事業の一環						○			○			
10月18日	通	NTTドコモ スマホから利用できる「AIエージェントサービス」を2018年春から提供すると発表。「しゃべってコンシェル」にNTTグループのAI「corevo」を組み合わせた。天気が悪ければ早めにアラームを起動するなど利用者の選好に沿ったサービスを提供できる。音声認識での操作も可能											○	○
10月19日	ネ	U-NEXT 「U-NEXT」で「FOXチャンネル」同時配信を開始。合わせて『ウォーキング・デッド』の最新シーズンの配信を23日から開始した。27日からは同作の見逃し配信も開始する						○	○	○				
10月20日	有	アズミック・エース 事業者向けにVRコンテンツの制作を開始。第1弾は、交友商事が行う鹿児島県での再生エネルギープロジェクトの紹介作品。これまでは一般消費者向け作品の提供を中心にしていたが、今後は民間企業を中心とした事業者向け作品の提供に注力する予定											○	

2017年10月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化					録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末サービス
					ハイブリッドキャスト	有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)							
10月20日	有	GYAOとWOWOW 人気声優を起用したバラエティ番組『セカイ系バラエティ 僕声』の共同制作・配信を行うと発表。両社が番組の共同制作を行うのは初めて。人気声優がコントなどを行う番組で、前編3話を「GYAO!」で12月22日から、後編2話を「WOWOW」で2018年1月5日から配信する				○		○								
10月21日	ネ	Perform 「DAZN」でJリーグの試合をマルチ画面で配信する「Jリーグゾーン」のサービスをリニューアルすると発表。新たにMCを起用し、独自解説付での配信を行う				○		○								
10月23日	ネ	Google 「Google Home」などスマートスピーカーに搭載されている「Googleアシスタント」に「radiko.jp」が対応を開始。「OK Google,radiko(又はラジオ局名)を聞かせて」と呼びかけることで放送エリア内のラジオを聴取することができる						○							○	
10月23日	放	フジテレビ 地上波放送と同時に、4KHDR映像をハイブリッドキャストを用いて対応テレビ向けに配信する実証実験を実施。放送開始と同時に対応する機器には4Kへ切り替えるアイコンを表示し、番組終了後は自動的に地上波放送に切り替える。同様の実験は日本では初めての試み			○		○					○				
10月24日	ネ	LINE LINEのスマートスピーカー「Clova WAVE」が「radiko」に対応を開始。「ラジオをつけて」「(ラジオ局名)をつけて」と呼びかけることで放送エリア内のラジオを聴取することができる						○							○	
10月25日	公	総務省 99MHz以上108MHz以下の周波数を利用する東北広域圏のV-Lowマルチメディア放送親局の開局について、電波監理審議会が予備免許の交付について妥当と判断し、総務省に答申						○								
10月26日	ネ	サイバーエージェント 2017年度通期連結決算で「AbemaTV」については209億円の赤字となったことを発表した。来年度も200億円規模の投資を行い、コンテンツの強化をはじめとして事業の確立を図る方針であることを述べた							○							
10月30日		GYAO MBSなどで11月5日から放送される新ドラマ『目玉焼きの黄身 いつつぶす?』の先行配信とオリジナル作品の配信を行うと発表。10月30日に「第0話」を配信し、第4話までの見逃し配信を行う。その後、放送終了後には全3話をネットオリジナルとして配信する				○		○								
10月30日	放	NHK 同時配信の実証実験として「試験提供B」を10月30日から11月26日まで実施。東京など首都圏4都府県で放送している地上波、Eテレの番組に加え、大阪局と静岡局の番組も配信する。また、早戻し配信や見逃し配信も実施						○	○							
10月31日	有放	J:COMとフジテレビ 韓国で放送されたドラマ『記憶』のリメイク版を両社が共同制作し、2018年3月から「フジテレビNEXT」と「J:COMプレミアチャンネル」で放送すると発表。4K版も制作し、「J:COMオンデマンド」で独占配信する				○						○				
10月31日	ネ広	博報堂DYMP、ヤフー、Handy Marketing 「Yahoo!メディアオーディエンスパネル」などを利用し、ネット上での効果的なテレビ広告企画を促進する「Handy TV Insight」サービスを提供すると発表。博報堂とヤフーが「Handy TV Insight」の開発・提供を行い、Handy Marketingが分析を担当する													○	

2017年11月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービス	通信インフラ・モバイル端末
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)								
11月1日	メ	シャープ 東京駅八重洲中央改札内「AQUOS 8K LC-70X500」を展示。サイズは70型。今回展示するのは同シリーズの最上位モデルで、「AQUOS 8K」の常設展示は初めて										○				
11月1日	有	東北新社 CSテレビチャンネル「ファミリー劇場」にスマホで同チャンネルのコンテンツが視聴できる会員制動画配信サービス「ファミリー劇場CLUB」を開始。利用料は無料だが、有料(月額500円)のプレミアム会員になると限定コンテンツの視聴やプレゼントへの応募などが可能となる		○	○											
11月1日	放	日本民間放送連盟 2018年2月9日から開催される平昌五輪(韓国)について、地上波、BS、ライブ配信の3つで約780時間の放送・配信を行う方針であると発表した。ライブ配信は民放共同による「gorin.jp」で無料配信する				○	○									
11月2日	公	総務省 4K・8K放送推進連絡協議会で4K・8Kに関するアクションプランがまとめられたことを公表。NHKによるイベント展開やスポーツ大会、家電量販店での展示など普及に向けた指針が中心										○				
11月6日	放	ジャパネット多メディア放送と東京多メディア放送「i-dio」でアニメソングを専門とする新チャンネル「アニソンHOLIC」が開設。平日は時間帯ごとに合った楽曲を選曲し、週末は視聴者からのリクエストに答える形で特集番組を放送する				○				○						
11月6日	ネ放	AbemaTV 元SMAPの稲垣吾郎、香取慎吾、草彅剛が出演した『72時間ホンネテレビ』の総視聴者数が過去最高の7400万人超となった。また、元SMAPメンバーの森且行が登場するとTwitterのトレンド世界ランキング第1位に「森くん」がランクインするなど話題を呼んだ					○			○						
11月6日	放	テレビ朝日ホールディングス 青森朝日放送と山形テレビ、長野朝日放送各社の株式を取得し、持分法適用関連会社化することを決定したと発表。グループ間の連携を強化する経営計画「テレビ朝日360°」に基づく取り組みの一環														
11月7日	メ	シャープ 8K/60p撮影対応のビデオカメラ「8C-B60A」を12月に発売すると発表。価格は880万円。1台で8Kの撮影、収録、再生、ライン出力の4つが可能なカメラは世界で初めて。映像を撮影しながらリアルタイムでの出力もできる										○				
11月7日	通メ	NTTドコモとシャープ 11月1日に5Gを用いた8Kの12チャンネルMMT伝送実験を行い、これに成功したと発表。5Gの高速・大容量という特長を活かすことで今後は高精細映像によるスポーツ観戦などに応用が期待されるとの見込みも提示した										○				○
11月7日	ネ	Spectee AIアナウンサー「荒木 ゆい」のβ版を発表。実際のアナウンサーが原稿を読み上げる10万件もの音声データを学習させており、同音異義語の読み上げや自然に近いイントネーションで原稿を読むことができる。また、質疑応答も簡易なものなら対応可能											○			
11月8日	通放	NTTドコモとフジテレビ 5GとAR技術を利用した新しいモータースポーツの観戦方式を提示する「ジオスタースーパーフォーミュラ」を開発。ジオラマ上に映し出したレースの中継映像や選手情報、順位などをARで表現し、利用者はスマホやスマートグラスから視聴できるようになる											○			○
11月9日		エム・データ 日本マイクロソフトのAI「Microsoft Azure」を活用してテレビやラジオ放送内容のメタデータを作成する「A Idealプロジェクト(仮称)」を開始し、共同の実証実験も行うと発表。放送内容をAIがテキスト化し、機械が判断できなかった部分は人が補填することでデータの質とコストのバランス														○
11月9日	放	中京テレビ放送とサムライインキュベーター「ユーザー体験に革命を起こすテレビの未来」を目的に、新規事業を募集するベンチャー支援プログラムを開始。中京テレビがベンチャー企業と放送サービスコンテンツの作成を共同で行い、サムライインキュベーターが支援プログラムの企画・運営を行う														
11月9日	放	在阪5局 毎日放送、朝日放送、テレビ大阪、関西テレビ放送、読売テレビ放送の5局が11月9日と10日に読売テレビでIPマルチキャストによる4Kの共同配信実験を行った。今回は4Kから4Kへのチャンネル切り替えや遅延の少ない緊急速報の実験などを行った	○			○						○				
11月10日	有	東北新社 クラウドサービスを展開するベンチャー企業のねこじやらし社と業務提携を行ったと発表。映像・放送業界などで一般化しつつある、デジタル素材のオンライン共有や受け渡し業務でのクラウド														○
11月10日	公	総務省 少子高齢化などの背景を踏まえて電波利用の将来像を議論する「電波有効利用戦略懇談会」が開催された。「電波オークション」制度やIoTを踏まえた電波政策などが議論される見通し														○
11月13日	ネ	HAROID スマートスピーカーに話しかけるだけで、テレビ番組中で紹介されている商品や店舗、音楽などをクリップできる「HAROID Note」を開発した。対応機器は「Amazon Echo」などを予定。保存した情報はスマホやパソコンから「HAROID Note」の専用サイトにアクセスすることで確認できる	○													○
11月13日	放	チューリップテレビ ハイブリッドキャストでの地域情報サイトの閲覧データと視聴者会員アプリのプロファイルデータをB-CAS番号で紐付けし、両データの連携のあり方を検証する実証実験を行うと発表。将来的な地域活性化を促すコンテンツ制作や視聴履歴データの活用を活かす目的		○												○
11月13日	ネ	ドワンゴ 決算発表で、「niconico」の有料会員数が228万人(前年同月比28万人減)であることや利用者の年齢層に30代から50代が増加し、高齢化の傾向にあることを発表した。なお、11月28日には10代利用者をターゲットにしたスマホ向けの新バージョン「k(クレッシェンド)」の発表会を行う					○									
11月14日	メ	ソニオネクスト 独自の8K HEVCデコーダーチップを搭載した4K・8K対応のメディアプレーヤー「s8」を開発したと発表。パブリックビューイングなど高精細映像のストリーミング配信を行う事業者向けに2018年3月より販売する予定。4Kを8Kへコンバートすることも可能で、サンプル価格は250万円											○			
11月14日	ネ	Amazon 映画『ロード・オブ・ザ・リング』原作小説のドラマ映像化権を取得したと発表。「Amazon Prime Original」作品として複数シーズンにわたって新規コンテンツを配信する予定					○									
11月14日	メ	東芝 グループ内でテレビ事業を手がける東芝映像ソリューションの発行済み株式の95%を、世界第3位のテレビメーカーである中国ハイセンスグループへ譲渡することを決定した。譲渡後も東芝は「REGZA」のブランド名の使用と自社開発、販売を継続する														
11月14日	ネ	Google 「YouTube」でミュージシャンの公式動画からコンサートチケットが購入できる機能を追加。動画下部にある購入ボタンをクリックすると、チケット販売会社「Ticketmaster」のウェブサイトへ接続される。現状はアメリカのみがサービス対象だが、今後は世界各国に対応予定					○									
11月15日	放	NHKとJEITA NHKが「Inter BEE2017」に初出展。JEITAと共同で8K中継車を展示し、フィギュアスケート選手権の様子など実際に制作した8KHDRコンテンツを公開する。併せて、8Kコンテンツの制作を支援する技術の展示や実際の家庭環境で4K・8Kを視聴することを想定した体験イベントも行う										○				
11月17日	放	民放連 規制改革推進会議で取り上げられた周波数オークション制度について、井上会長が改めて反対の姿勢を表明。安定した放送の必要性や災害時の緊急報道など公的性格の強さを理由に挙げた														
11月17日	ネ	CyberBull スマホ向け動画広告の視聴実態に関する調査結果を発表。10代から40代までの男女全体で広告を最後まで見た経験がある人は過半数に達した。また、広告を最後まで視聴する理由では「短時間だから」や「興味のある商品だったから」という回答が4割以上にのぼった														
11月17日	ネ	LINE スマートスピーカーの「Clova WAVE」をビックカメラなど全国の家電量販店360店舗あまりで販売開始。販売価格は1万4000円。なお、ネット通販の「Amazon.co.jp」では当初「Clova WAVE」を販売していたが、その後に取り扱いを中止した											○			

2017年11月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末サービス
					有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)							
11月17日	ネ	Perform「DAZN」で利用料金の一部を選手の強化費用として各サッカークラブへ還元する「DAZN年間視聴パス」の販売を開始すると発表。コンセプトは「DAZNに加入するとあなたのクラブが強くなる!」。各クラブごとにパスが販売され、その一部が還元されるシステム。料金は19250円				○									
11月17日		ジョリーグッド VRやARサービスの開発・提供を手がけてきたジョリーグッドが求人情報を扱うディップ株式会社等から4億円の資金調達を実施。VRの開発や営業の体制拡大による事業強化が目的											○		
11月19日	ネ	Netflix 決算発表会で2018年には80本のオリジナルの映画作品を配信予定であると発表した。これに伴い、2017年にコンテンツ獲得に投じた予算が60億だったのに対し、2018年には70~80億ドルへと大きく増加する見通し				○									
11月20日	公	総務省 AMラジオ放送の難聴対策や災害時の緊急放送に、民放事業者のFM補完中継局を活用する「ワイドFM」放送について、11月20日から12月10日までの「周知強化期間」を設けると発表。首都圏の地下鉄などで広告掲載や意識調査を行う						○							
11月22日	メ	東芝『サザエさん』の広告スポンサーを2018年3月末で降板することを正式に決定した。また、ニューヨークのタイムズスクエアビルに10年間掲載していた大型広告も来年前半に取りやめる方針													
11月22日	公	総務省 2016年6月に終了した「NOTTV」の跡地であるVHF帯(207.5~222MHz)について、移動受信用地上基幹放送での参入希望調査とVHF帯を利用したシステム案の募集を開始。受付は2018年2月16日まで行われる													
11月25日	有	WOWOW ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズとの協力で、テニスのエキシビジョン試合でのVR観戦サービス「WOWOW Tennis VR@ARIAKE」を実施。参加料は無料だが、VRサービスはスタジアム内のイベントスペースで提供されるため、スタジアムへ入る観戦チケットが必要											○		
11月28日	放通	テレビ朝日とKDDI テレビ朝日の通販番組「特選ものコンシェルジュ」とKDDIの総合ショッピングモール「Wowma!」の連動による「ライブコマース」サービスのトライアルを実施。テレビ放送に加え、時間外でも「YouTube」などで商品を宣伝するコンテンツを配信し、「Wowma!」で商品購入が可能						○		○					
11月28日	放	アマネク・テレマティクスデザイン「Amanekチャンネル」で視聴者の位置情報などをもとに通常の放送とストリーミング放送を自動で切り替える「ハイブリッド・デジタルラジオ放送」を開発したと発表。音楽やスポーツなど特定のイベントに参加する視聴者向けに番組を配信することが可能となる						○		○					
11月28日	ネ	ドワンゴ「niconico」の新バージョン「(クレッシェンド)」の発表会を開催。3つ目のインターフェイスとしてリアルタイムでの動画合成や配信者と視聴者のコミュニケーション機能を重視した「nicocas」を提供すると発表。画質の引き上げも発表した。ただしサービス開始は2018年2月28日に延期						○		○					
11月28日	有	スカパーJSAT「スカパー!オンデマンド」のテレビ視聴に対応するアプリを提供開始した。アプリの利用前にウェブサイトから利用者登録をしておけば、対応テレビで「スカパー!オンデマンド」が利用		○		○									
11月29日	放	TBSラジオ 定例会見で開局翌年から65年間放送してきたプロ野球ナイター試合の中継を2017年度で終了すると発表。新番組については来年早々には決まる予定と発表した						○							
11月29日	公	内閣府 規制改革推進会議が第二次答申を安倍首相に提出した。周波数オークション制度については「引き続き検討する」という評価に留めた。また、携帯電話事業者と放送事業者間の電波利用料負担の不均衡を是正するための措置を検討することを明記した													
11月30日	ネ	GYAO「プレミアムGYAO!」のサービスを2018年2月28日で終了すると発表。これに伴い、同サービスの会員登録受付を2017年11月30日で終了する。また、会員へは「Hulu」の月額利用料金が最大半年間割安(通常月額933円が500円)になる乗り換えプランを提供する				○									
11月30日		ビデオリサーチ「AbemaTV」の『72時間ホンネテレビ』について「視聴者数207万人」と公表していたプレスリリースを撤回した。視聴人数の集計条件に不適切な内容が含まれていたとして、自社サイトに謝罪文を掲載した							○		○				

2017年12月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サ通信インフラ・モバイル端末
					有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)							
12月1日	有	スカパーJSAT ハイブリッドキャストを活用して、BSとCSの放送・配信中の番組表をまとめて一覧表示する「スカパー! ハイブリッド」を提供開始。dボタンを押すことで利用でき、前後1週間を含む計15日分の番組を閲覧できる。放送とVODのシームレスな接続がコンセプト			○	○									
12月1日	ネ通	ドワンゴとNTTドコモ 動画配信用のプラットフォームサービス「ニコニコチャンネル」内に、「dアニメストア ニコニコ支店」が開設。1500以上のアニメ作品が視聴できる。「ニコニコチャンネル」では初のアニメ見放題サービスで、投稿機能を使った視聴者同士のコミュニケーションが可能。				○			○						
12月1日	ネ	サイバーエージェント「AbemaTV」と連動したネット通販事業を行う新会社「売れるAbemaTV社」をテレビ朝日らとの共同出資によって設立。今後、通販番組を「AbemaTV」内に配信していく。広告収入と見逃し視聴機能の課金収入に加えて、EC事業を収入源に組み込む戦略						○							
12月1日	ネ放	AbemaTV「AbemaTV」内にラジオ放送を行う「ラジオチャンネル」を開設すると発表。各エリアごとにしか視聴できなかった全国8局の人気音楽番組を編成し、サイマル配信で視聴できるようにする						○							
12月1日	放	A-PAB 2018年の4K・8KのBS放送開始を前に、総務省やメーカーなどによるPRイベント「新4K8K衛星放送開始1年前セレモニー」が開催された。正式名称が「新4K8K衛星放送」に決まったことやロゴマークも公表された。NHKもPRイベントを新宿で開催する									○				
12月1日	放	テレビ朝日ホールディングス イベントやテレビ広告の企画事業を行う株式会社レイとの間で資本業務締結を行い、持分法適用関連会社とすることを決議したと発表。経営計画である「テレビ朝日360°」によるコンテンツ・ビジネス強化策の一環													
12月1日	メ	シャープ 8K対応のテレビ「AQUOS 8K」の販売を開始した。大きさは70型で、想定価格は約108万円。中国では10月から販売しており、日本での販売は世界で2カ国目となる									○				
12月2日	有	J SPORTS 電気自動車のカーレース「FIAフォーミュラE選手権(フォーミュラE)」の2017・2018年シーズンの全14試合をライブ配信を中心に展開すると発表。12月2日の第1戦から2018年7月29日の最終第14戦まで配信予定	○					○							
12月4日	ネ	Perfome「DAZN」でJリーグ2017シーズンの試合から利用者がベストマッチを選ぶ「BEST MATCH 2017」の投票受付を開始。各クラブで投票数1位となった試合を配信する。加えて、年間での視聴数上位5つのクラブについては選手・監督がベストマッチを選出し、選手による特別解説付きで配信						○	○						
12月4日	ネ	DMM.comとビデオマーケット 動画配信事業での業務締結を実施。配信プラットフォームである「DMM動画」にビデオマーケットのコンテンツが提供される。これにより、コンテンツ数が50万件と国内最大規模の配信サービスを目指す。また同日からは購入金額の3割がポイント還元される						○							
12月5日	公	総務省 2018年12月の4K・8K放送開始について周知活動強化を図ると発表。具体的には、総務省によるリーフレットの配布や家電量販店での宣伝、メーカーによるテレビカタログへの掲載強化策などの3点を、関連団体等との協力の下で展開する										○			
12月5日	ネ放	AbemaTV 大晦日の特別企画「朝青龍を押し出したら1000万円」を「AbemaSPECIALチャンネル」で配信すると発表。番組出演者が元横綱朝青龍を土俵から押し出したら賞金1000万円が貰える						○							
12月5日	広	電通と電通デジタル マス媒体からデジタル媒体への動画広告の最適化を行う「BRAND LIFT CHECKER」の提供を開始した。広告プランナーが作成した178項目の審査項目とデータ分析により、デジタル媒体の動画広告の最適化が可能												○	
12月6日	放	岩手放送 ジョーグッド社と共同で岩手県発のVRアプリ「VR IWATE 360°」の提供を開始した。主に観光事業用に岩手県の伝統芸能などを360度映像で撮影し、配信していく。視聴には専用のスマホアプリが必要で、岩手放送のニュースアプリ「IBCつながるアプリ」から入手できる											○		
12月6日	ネ	Amazon 第3世代以降の「Apple TV」に「Amazonプライム・ビデオ」のアプリの提供を開始。「Apple TV 4K」にも対応しており、4K作品も高画質で視聴できる	○					○				○			
12月6日	ネ	Google Amazonが「Google home」など自社製品を適切に販売していないとして、Amazonのスマートスピーカー「エコー・ショー」で「YouTube」を視聴できないようにする措置を行った。「Amazon Fire TV」に対しても、2018年1月1日から視聴できない措置をとる予定		○				○						○	
12月7日	メ	シャープ 債務超過により2016年8月に東証二部へ差し替えとなっていたシャープが、1年4ヶ月ぶりに一部に復帰した。2016年上期との比較では売り上げが1.21倍に増加し、純利益も347億円となった。今後の方針としては、8KやAIとIoTを接続する「AIoT」分野へ注力することを示した											○		○
12月7日	ネ放	AbemaTV 2018年元日に、「AbemaSPECIALチャンネル」で元プロボクサーの亀田興毅選手らが挑戦者と対戦する『AbemaTV新春ボクシング祭り! 亀田一家人生を賭けた3大勝負』を配信すると発表。番組内の企画の一つとして「亀田大毅に勝ったらお年玉1000万円」も展開						○							
12月7日	放	NHK 2017年大晦日の「第68回NHK紅白歌合戦」で8K放送とライブパブリックビューイングを行うと発表。同番組には2018年9月での引退を発表している歌手の安室奈美恵も出演する。また、ビョンチャン五輪での8K放送や五輪では初となる4Kでの中継などを行うと発表した						○				○			
12月8日	放公	民放連 規制改革推進会議でまとめられた「規制改革推進に関する第2次答申」の「電波制度改革」について井上会長のコメントを発表。今後の検討で、無線システムの公共性などを考慮し、専門家や関係各者の意見を取り入れ、精緻な議論を行うことを要請した													
12月9日	ネ	Perfome「DAZN」で欧州5大リーグの注目試合をJリーグ所属の選手・監督の解説付きで配信する「EURO SOCCER FREAKS」を実施。12月9日から2018年1月4日まで計9試合を配信する						○							
12月11日	放	日本テレビ 「日テレニュース24」のアプリの提供を開始。「日テレニュース24」のニュースを無料で視聴可能で、プッシュ機能やニュース動画を3本まで保存できる機能を利用できる	○					○	○						
12月11日	公	総務省 電波有効利用成長戦略懇談会の成長戦略ワーキンググループで第2回会合が開催。NTTドコモが2030年代に見込まれる通信技術として、5Gを超えた6G通信のイメージを説明した。この際小林政務官は、テレビがデバイス・表示画面のひとつに過ぎなくなると期待を示した													○
12月12日	放	NHK 同時配信(試験的提供B)の利用状況に関する速報値を発表。試験期間の1ヶ月のうち、参加者の6割が同時配信を利用し、平均利用率は約18%であることから、継続的な利用が観察されたと公表した。また、10代から60代の利用者の全世代にわたって利用傾向が見られると公表した						○							
12月13日	放	テレビ東京 日経メディアマーケティング社との委託販売契約を締結し、経済ニュースに特化した動画配信サービス「テレビ東京ビジネスオンデマンド」を法人向けに提供開始。基本パッケージは5ライセンス分で年間3万円。その後追加する際には1ライセンスごとに年間6000円がかかる						○							
12月13日	放	ICT総研 2017年の有料動画配信サービスの利用実態に関する調査結果を発表。利用者数は増加し約1440万人となった。中でも定額サービスの利用者は約1190万人と8割を超えた。また、定額サービスで最も利用率が高いのは「Amazonプライム・ビデオ」で約7割を占めることを示した						○							
12月14日	ネ	楽天 通信事業者として新規参入を目指すことを決定。既にMVNO事業「楽天モバイル」(契約者数140万人)を展開しているが、1.7GHzか3.4GHz帯を利用した自社回線を持つ通信事業者として事業を展開する見込み。開始は2019年を目指し、都市部で1500万人の利用者獲得を目指す													○
12月14日	通	ソフトバンク アニメ作品の定額配信サービス「アニメ放題」をキャリアフリー化。ソフトバンク以外のキャリアの利用者でも同額の月額400円で利用可能となる。なお、利用にはYahoo! JAPAN IDとYahoo!ウォレットへの登録が必要						○							
12月14日	ネ	Netflix 日本国内で2017年に最も視聴されたコンテンツを、視聴形態や作品カテゴリー別にランキング形式で発表。友人などとの視聴時間を「抜け駆け」して視聴されたのは『フラーハウス』などのコメディ系が多く、家族で視聴されたのは『スタートレック』などノスタルジー系が多かった						○							

2017年12月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化					録画視聴化	分散型化	ソーシャル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末サービス
月日	事業者	内容			ハイブリッドキャスト	有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)							
12月18日	放	在京民放5社「TVer」のアプリダウンロード数が1000万件を突破したことを発表。また、サービス開始から2年となる2017年10月の再生回数は、過去最高の2626万回を記録していた。今後もビヨンチャ五輪の公式動画サイト「gorin.jp」との連携などを図っていく			○											
12月19日	メ	パナソニックコンシューマーマーケティングジャパン「CLUB Panasonic」のLINE公式アカウントから、AIを用いて番組検索とパナソニックの録画機「ディーガ」に録画予約ができる機能を搭載した。また、全国の「ディーガ」から収集したデータに基づき、お勧め番組なども提示する							○	○						○
12月20日	ネ放広	DeNA、文化放送、創通 3社が共同でオリジナルアニメ作品を制作する「Project ANIMA」を始めると発表。DeNAの「マンガボックス」など投稿サービスサイトで企画を公募し、3社と各制作会社で作品を選定する。2020年の放送を目指し、アニメ作品3つを制作予定														
12月23日	有	WOWOW グループ会社のアクトピラと協力し、サッカースペインリーグのレアル・マドリッド対バルセロナ戦を4Kでライブ配信する実証実験を実施。ハイブリッドキャストを用いて通常放送から4K映像へ切り替え可能とした		○	○	○						○				
12月25日	有	WOWOW ホテルチェーンを展開するルートインジャパン社との業務提携により、全国のルートインホテルズの客室でWOWOWが無料視聴できるサービスを提供開始した			○											
12月25日	ネ放有	プレミアム・プラットフォーム・ジャパン(PPJ) 東京放送ホールディングスなど6社が2017年7月に設立したPPJが、2018年4月より開始するSVODサービスの名称を「Paravi」にすることを決定。出資企業6社の作品の配信やオリジナル作品の制作も行う。利用料金は月額925円			○											
12月25日	公	総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」で同時配信の試験的提供の結果を報告したNHKに対して、野田大臣が「一定のニーズは示された」と肯定的な評価を示した				○										

2018年1月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	ハイブリッドキャスト	有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	録画視聴化	分散型化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端
1月1日	ネ放	AbemaTV「AbemaTV」で元SMAPメンバーの香取慎吾、草薙剛、稲垣吾郎が出演する『27Hunホンちょっとテレビ』をライブ配信した												
1月2日	ネ	HJホールディングス「Hulu」で1月2日から3日開催の『第94回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)』のライブ配信を実施。箱根駅伝をテレビと同時にネットで配信するのは初めての試み												
1月4日	ネ放	AbemaTV「AbemaGOLDチャンネル」と「スポーツチャンネル」で2018年に開催される大相撲の全6場所(計90日間)を全てライブ配信すると発表。場所中は「序の口」の取り組みが行われる朝8時半から、「結びの一番」までの夜18時まで中継・配信する												
1月5日	公	総務省 基幹放送局の免許の認定・再認定を規定する電波法の要件に、字幕の付与比率を明記することを改正案として盛り込んだ「電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案」への意見募集を開始。ローカル局は10年間で字幕付与比率を8割とすることとした												
1月10日	放	フジテレビ「FOD」にモバイルサービスのマーケティングツール「Repro」を導入と発表。「Repro」はRepro株式会社から提供される情報行動の解析ツール。同ツールで「FOD」利用者の年齢や閲覧履歴などを分析し、より最適な番組サジェストなどパーソナライズ機能の強化を図る												
1月10日	ネ	Google「YouTube」の最高品質責任者であるニール・モーハンが、「CES(国際家電見本市)2018」で「YouTube」の動画視聴の7割がAIによるレコメンド表示からの視聴であると述べた												
1月11日	公	総務省 99MHzから108MHzまでのV-Lowマルチメディア放送で、中国・四国地方の業務認定申請について中国・四国マルチメディア放送株式会社から申し込みがあったと結果を公表												
1月11日		FactCheck Initiative Japan (FIJ) メディアに掲載された情報の事実検証(Fact check)を行うFIJがNPO法人化した。初代理事長には瀧川幸朝・早稲田大学政治経済学術院教授が就任した												
1月11日	公	総務省 北陸総合通信局は、北陸放送と石川テレビの両社から申請のあった地上波放送の送信空中線の変更に許可を出した。落雷による送信アンテナの故障が原因で、15時間以上放送ができなくなった。総務省によれば、2011年以降これだけ長時間の停波は初めて												
1月14日	放	NHK 2018年12月からの4K・8K放送実施による放送帯域の再編に伴い、「NHK BS1」の解像度が1920×1080ドットから1440×1080ドットへ削減された。22日にはBS朝日など民放4局でもBS放送の解像度を同様に削減する予定												
1月14日	ネ	HJホールディングス「Hulu」で、アメリカンフットボールプロリーグ「NFL」の上位8チームが出場する試合をライブ配信。14日と15日に計4試合を配信し、22日に上位4チームが対決する2試合を配信												
1月15日	有	信濃毎日新聞と富士通 富士通のAI「Zinrai」を用いて、記事要約文を自動で作成する実験を実施。従来は記者が最大5分かかっていた要約文を、高精度かつ短時間で作成することに成功したと発表。4月からこの要約システムをケーブルテレビ向けのニュース配信サービスに導入する予定												
1月15日	放	在京民放5社「TVer」のテレビ受信の実証実験として、テスト用のAndroid TVアプリを、ソニーのAndroid TV(Bravia)向けに提供を開始。2015年発売以降のAndroid TV搭載テレビで視聴できる。期間は1月15日から3月31日まで。なお、フジテレビと日本テレビは番組を提供しない												
1月15日	有	佐久高原ケーブルビジョン 長野県のケーブルテレビ事業者「佐久高原ケーブルビジョン」が15日に放送を止め、650世帯でテレビ放送が視聴できなくなった。同社は以前から事業を取り止めたいとの姿勢を見せていたが、今回事前の通知はなく、佐久穂町が対策を行う予定												
1月16日	放	NHK 2018年度～2020年度の経営計画を発表。「公共メディア」の実現など6つの指針を掲げ、「公平・公正な情報の提供や4K・8K環境の整備、同時配信に取り組むとした。また、受信料の負担軽減策として、社会福祉施設への免除拡大や奨学金受給学生への免除策など4つを実施												
1月16日	ネ放	売れるAbemaTV社 サイバーエージェントグループ内でネット通販事業を担う同社の通販番組、『売れるAbemaTV社』の放送第1回を、2月1日に「AbemaTV」で配信すると発表した。初回配信を記念して、50人に1人の割合で購入金額を全額ポイント還元するキャンペーンも実施												
1月17日	放通	テレビ朝日とKDDI テレビCMとスマホを連動させた新しいプロモーション企画の試みとして、CM放送中にスマホからキャンペーンサイトにアクセスし、ゲームに参加するとクーポン券が貰える企画を実施。事前キャンペーンに参加した人や企画から途中で離脱した人にもデジタル広告を配信する												
1月18日	ネ	Google「YouTube」の動画配信者に広告収入を支援する「YouTubeパートナープログラム」を厳格化。従来は視聴回数が1万回以上ならプログラムに参加できたが、新基準では過去1年間の総再生時間が4000時間以上、登録者数が1000人以上であることが必要となる。2月20日から適用												
1月18日	ネ	CCC AIR 4KHDRに対応したスティック型STB「Air Stick 4K」の販売を開始。Android TVに接続することで、「TSUTAYA movie」や「DAZN」など様々な映像配信アプリを楽しめる。価格は9800円												
1月19日	有	スカパーJSAT 海外旅行者向けに海外有力放送局のニュースを視聴可能なライブ配信サービス「Portable News」の提供を開始。アプリを取得することで、無料で利用できる。提供開始時点で「euronews」など7チャンネル13言語に対応し、災害情報も多言語で配信する												
1月22日	ネ	Netflix 2017年第4四半期の業績と年間業績を発表。第4四半期は前年比32.6%の増収となり、年間でも売り上げが110億ドルになったと発表した。総員数も1億1758万人となり、前年比で2400万人増加した。今後2018年度にはコンテンツ事業に約80億ドルの投資を行う予定												
1月23日	放	テレビ東京 経済番組に特化した「テレビ東京ビジネスオンデマンド」のホームページがリニューアル。ページ上部に配信番組一覧を表示するほか、更新が分かりやすいデザインに変更された												
1月25日	ネ	Perform 2018年の事業戦略説明会で、「DAZN」にダウンロード機能やプッシュ通知機能などを実装予定と発表。特にダウンロード機能では、ほぼ全てのコンテンツがダウンロード可能になる見通しであることや、視聴可能期間も現在の見逃し期間(1週間)より長くなる可能性を示唆した												
1月25日	ネ	サイバーエージェント 2018年度第1四半期決算を発表。全体の売上高は伸びたが、「AbemaTV」では40億円の赤字であることを発表した。ただし、「AbemaTV」がアプリダウンロード数が2600万件を超えたことや月間アクティブユーザーも1000万人を超えたことから、継続投資を行うとした												
1月26日	放	テレビ朝日 新作ドラマ『ホリデイラブ』と連動したAIチャットボットサービスを提供開始。「LINE」上でドラマの主人公を模した「AI杏寿」は放送終了後に悩み相談を投げかけ、それに答えると、友達と話している感覚で返信が届く												
1月29日	通	KDDI IoT向けの通信サービス「KDDI IoT通信サービス LPWA(LTE-M)」と通信モジュール「KYW01」を法人向けに提供開始した。IoT向け回線は国内では初めてで、1本月額40円ほどで利用できる												
1月29日	放	日本テレビ Mixed Reality(複合現実)技術を利用した新しいテレビ視聴体験を、3月6日、7日の「クリエイティブテクノロジーラボ」で一般展示する。利用者はスマートグラスを使って、テレビの枠外に表示されたスポーツ選手の等身大映像や表示されるデータなどを楽しめる												
1月30日	公	総務省 「放送を巡る諸課題に関する検討会」の分科会である、「放送サービスの未来像を見据えた周波数有効活用に関する検討分科会」の第1回が開催												
1月30日	通	NTTドコモ スマホから映画やアニメなど30以上のチャンネルが楽しめる「dTVチャンネル」(ドコモ利用者は月額780円、その他は1280円)を提供開始。同日からはテレビ用STB「ドコモテレビターミナル」の販売も開始する。また、「dTV」や「DAZN for docomo」とのセット割引も実施する												
1月30日	ネ	アマゾンジャパン 東芝が3月末でスポンサーから降板するアニメ「サザエさん」の新スポンサーに、アマゾンジャパンが決定した。他にも、大和ハウス工業と西松屋が新スポンサーに選ばれた												
1月30日	放	TBSテレビ NTTドコモが提供する「dTVチャンネル」で、TBSのエンターテインメント番組を配信する『TBSオンデマンドチャンネル』と、ニュース番組『TBSニュースバード』の中からストレートニュースのみを選出した『TBSニュースバードeverywhere』を提供開始。「ひかりTV」にも対応する												
1月31日	公	安倍総理はIT企業などを中心とする経済団体「新経済連盟」(代表幹事 三木谷浩史)の新年会に登壇し、ネット配信は視聴者にとって放送と同じ位置づけとなっており、法体系が実状に合っていないことや、電波制度改革の必要性について述べた												

2018年2月まとめ

月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末
					有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信、マルチデバイス配信等)					
2月1日	公	内閣官房 未来投資会議の第13回会議が開催。安倍総理は、「電波や周波数割り当ての形も含め、放送事業の在り方から大胆に再検討することが必要」と言及した。											
2月1日	有	NTTぷららとアイキャスト「ひかりTV」をキャリアフリー化すると発表。NTT東・西以外の事業者が提供する光回線からでも利用できるようにした。また、3月からはソニーネットワークコミュニケーションズが提供する高速回線「NURO 光」にも対応し、音楽やゲーム等エンターテインメント作品を提供				○							○
2月1日	有	スカパーJSAT「スカパーオンデマンド」で「FOX」など4チャンネルがIPリニアでの配信を開始。これにより、同サービスでのIPリニア提供チャンネルは80件となった。	○			○		○					
2月2日	放	日本テレビ「Amazonプライム・ビデオ」のドラマ『フェイス』について、同社の一連の事件報道を想起させる内容であるにも関わらず、事前の相談が無かった件について、Amazonジャパンと制作会社に抗議文を提出したと発表											
2月5日		野村総合研究所(NRI) 約3万件に及ぶ「シングルソースデータ(特定対象のメディア接触状況と購買行動を合わせたデータ)」と、約200件のテレビCMの解析データをAIで分析し、未放送のテレビCMの認知や購買行動への効果を測定する効果予測モデルを開発したと発表										○	
2月8日	広有メ	博報堂DYP、WOWOW、イマジカ・ロボットホールディングス 4KHDR映像を映画館に伝送・上映する実証実験を実施。公衆回線を利用した一般向けの高精細映像の上映は国内初。映像配信高度化機構の2017年事業の一環で、エンターテインメント分野での高精細動画の伝送化が目的					○						○
2月8日	通	ソフトバンク「スポナビライブ」を2018年5月で終了と発表。同サービスで配信していたコンテンツは、Performが提供する「DAZN」に2月9日から集約される。これに伴い、「スポナビライブ」利用者向けに、「DAZN」の月額利用料が割安(通常月額1750円を980円)になるキャンペーンを開始				○							
2月8日	放	在京民放5社「TVer」が民放各局による五輪公式動画サイト「gorin.jp」と連携し、ピョンチャン五輪の一部をライブ配信。「gorin.jp」で提供しているライブ動画やハイライトの一部を視聴可能					○	○	○				
2月8日	公	総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」の分科会として、「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」が発足し、第1回会合が開催											
2月9日	放	NHK ピョンチャン五輪の開会式やフィギュア全種目などをオリンピック放送機構(OBS)と8Kで共同制作し、全国5会場でパブリックビューイングを開催											○
2月9日	有	NTTぷらら「ひかりTV」でNHKの行っピョンチャン五輪の4K放送(試験的提供C)に対応。4K対応テレビとチューナーがあれば視聴できる。また、「NHKオンデマンド」では「ひかりTV」を通じて、2月半ばから8本の4K作品を提供する					○						○
2月9日	ネ	Google 悪質な動画投稿者に対する対策として、「YouTube」のガイドラインに違反した投稿者への対策を強化。具体的には、チャンネルそれ自体の削除や広告の掲載停止、レコメンドに表示させないようにするなど、以前よりも厳しい罰則を設けた					○						
2月9日	放	NHK 2018年度の予算と事業計画を国会へ提出。新年度予算は、収入7168億円、支出は7128億円とし、差額は4K・8K設備の整備などに当てるとした。野田総務大臣は予算内容をおおむね妥当しつつも、今後収入が増加することを見込んで収支構造の再検討を行うことが適当とした											○
2月10日	ネ	HAROID 放送と配信の2つで楽しむインタラクティブ番組「トモテレ presented by au」の放送時間中に、視聴者がスマホからゲーム形式で参加できるCMを放送。番組自体がスマホでの動画配信を放送と合わせて楽しむことを前提にしているため、違和感なく楽しめる						○					○
2月12日	放	エフエム東京、TOKYO SMARTCAST、日本空港ビルテック 海外からの観光客向けサービスとして、中国語での放送を行う「八六東京チャンネル」と中国語での情報ポータルサービス「八六東京ポータル」の提供を開始。観光で役立つ情報や芸能、サブカルチャー、グルメ情報などを提供する											○
2月13日	放	読売テレビ放送(ytv)と読売テレビエンタープライズ(YTE) 読売グループ内のインターネット事業を統合するために、3月1日付で新会社として「株式会社ytvメディアデザイン」を設立すると発表					○	○					
2月13日	広放	博報堂DYPとラジオNIKKEI 社内で音楽を中心とするラジオ番組「ラジオNIKKEI第2(RN2)」が聴けるサービス「RN2 Office Hearing Service」を実施するためのモニタリングを開始。導入後はアンケートに答える必要があるが、無料で専用機器を設置・提供する											○
2月15日	放	読売テレビ「グリー」子会社の「Glossom社」と共同で、企業支援プロジェクト「100億上ル」の第2回を開催と発表。同企画は参加企業が2分間で自社や自社サービスをプレゼンし、それが放送されるというもの。今回は昨年の第1回放送が行われた近畿エリアに加え、首都圏でも放送予定											
2月15日	放	TBS-HD(TBS) TBSはVRなどデジタル技術を活用した体験型テーマパークを企画・運営する「株式会社ブレスホルダ」へ出資し、関連会社化したことを発表。両社のノウハウを合わせて、家庭向けのデジタル知育事業を推進する目的											○
2月16日	ネ	Perform「DAZN」で2018年に配信するスポーツコンテンツの発表会を開催。新たにプロ野球は読売巨人軍を除く11球団の公式戦を配信し、バスケットボールB.LEAGUEも配信する。加えて、「サッカー」リーグなど国内外のスポーツに関する130以上のコンテンツを配信するとした					○						
2月19日	ネ	Perform「DAZN」の利用ができるようになる「DAZNチケット」を各コンビニエンスストアで販売開始。これまで同サービスの料金支払いにはクレジットカード登録が必要だったが、これによりカードを保有していない人も「DAZN」の利用ができるよう整えた					○						
2月20日	ネ	DigiBook NHKの番組制作者と共にスマホ利用者が映像作品を制作できるアプリ「NHKテレビクルー」を開発。制作者側の求める撮影対象や画角などの指示が配信され、それを元に利用者が動画を撮影。投稿された動画を制作者側で再構成し、番組として放送する											○
2月21日	メ	シャープ「AQUOS 4K」と同期することで、利用者の視聴傾向をAIが学習し、お勧め番組を提示するスマホアプリ「COCORO VISION」のiOS版を提供開始。番組を登録すると、放送時間が近づいた際にスマホの画面に通知する。スマホをリモコンとしても使用可能	○										○
2月21日	放	NHK 2018年12月1日から放送を開始するスーパーハイビジョン放送のチャンネル名称を、「NHK BS4K」と「NHK BS8K」にすると発表した。「NHK BS4K」では地上波などの人気番組の4K版や特別番組を放送し、「NHK BS8K」ではコンサートやスポーツコンテンツを放送する											○
2月22日	広	電通 2017年の日本国内における総広告費は6兆3907億円(前年比1.6%増)と6年連続で増加したと発表。その中で特にインターネット広告が1兆2206億円(前年比17.6%増)を記録するなど、大きく伸びていることを指摘した。なお、新聞やテレビなど「4マス媒体」は、前年比2.3%減となった											
2月24日	ネ	Perform「Twitterライブ」として、J1リーグと各欧州リーグの試合を「Twitter」上で毎週1試合フルマッチでライブ配信開始。「DAZN」のTwitterアカウントやPerformのサッカー専門誌「Goal」のアカウントをフォローすると視聴可能となる					○						
2月26日	ネ	HJホールディングス スマホとパソコンに提供していた「Hulu」のリアルタイム配信サービスを、ソニーとシャープのAndroid TV搭載テレビ、「Amazon Fire TV」や「Chromecast」から視聴可能に	○	○									
2月26日	広	ビデオリサーチ データサイエンス事業に特化した新会社「Delta Values(デルタバリューズ)」を4月2日に設立すると発表。ビデオリサーチ社が展開してきたデータ分析事業の中でも、メディア・コミュニケーション分野への特化と分析ツール開発、データ分析の専門家を雇用・育成する方針											○
2月26日	公	情報通信研究機構(NICT) IPマルチパスとIPマルチキャストを併用することで、8K非圧縮動画を国内外複数の回線経由で多重送信することに世界で初めて成功。送信時に複製した動画を複数回線に配信することにより、長距離伝送でも高精細動画を遅滞なく配信することが可能であると実証											○
2月27日	広	ビデオリサーチ 2018年4月に関西地区、7月から名古屋地区において、タイムシフト視聴率の調査とデータの提供を開始すると発表。同社では2016年10月から関東地区でのタイムシフト視聴率の調査を行っていたが、今回調査対象が3地区に拡大する											
2月28日	ネ	ドワンゴ「ニコニコ動画」を会員登録とログインをせずに視聴できるよう仕様を変更。非会員でも一般会員と同じように動画やコメントの視聴が可能になった。動画の「マイリスト追加」やコメント投稿にはログインが必要で、新バージョンの「niconico(ニコニコ)」は対応時期を遅らせた											○
2月28日		GEM Partners 2022年までの動画配信市場の予測レポートを発行。2017年の動画配信市場は前年比12%増で約1830億円であり、2022年には約2600億円まで成長するという予測を示した。SVODサービスが市場の75%を占め、「Amazonプライムビデオ」や「Netflix」の成長顕著と指摘											○
2月28日	公	総務省 VHF帯(207.5~222MHz)を利用するシステムの募集結果を公表し、通信事業者と放送事業者から合計で8件の提案があったと発表。今後総務省では、提案内容を踏まえた上での具体的な有効活用方針を検討していく											○

2018年3月まとめ			マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化				録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	サービス	通信インフラ・モバイル端末	
月日	事業者	内容			有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)									
3月1日	有	WOWOW カスタマーサポートサービスとしてAIチャットボットと有人での対応などを組み合わせた「WOWOWサポートコンシェルジュ」の運用を開始。ウェブ上で「LINE」で提供する。これにより、サービス受付時間が24時間対応となった。顧客満足度向上が目的															○
3月1日	ネ	Spectee『AIアナウンサー「荒木ゆい」ボイス・プラットフォーム』を公開。利用者が原稿を入力することで、AIアナウンサーの人工音声を生み出すことができる。また、アクセントなどの変更も可能。利用料は月額9800円で20回分の音声ファイルがダウンロードできる															○
3月2日	放	放送大学学園 地上波のテレビとFMラジオ放送を2018年9月末で終了すると発表。以前から地上波放送を9月で終了することは告知していたが、改めて具体的な期限を示した。10月からはBSに完全移行する。同学園は総務省へ2017年12月にデジタル放送の廃止申請を行っており、3月1日に許諾															
3月3日	ネ	Twitter 電気自動車のフォーミュラカーレース「FIA フォーミュラE選手権(フォーミュラE)」を「Twitter」上でライブ配信。「フォーミュラE」の公式アカウントからライブ配信を視聴できるほか、クリップ動画もツイートとして配信される					○			○							
3月5日	ネ	Netflix コンテンツの視聴年齢制限などを設定するペアレンタルコントロール機能を今後数ヶ月中に強化すると発表。保護者が暗証番号を操作して子供の視聴する番組を制限することや、コンテンツの視聴開始時にも年齢制限基準を表示するように改善する					○										
3月6日	通	NTTドコモ 8KやVRなどでスポーツコンテンツを楽しめる施設、「DAZN for docomo SPORTS LOUNGE」を渋谷に開設。マルチスクリーンに映し出された動画を視聴できるほか、選手同士の対決の様子を3Dホログラムで楽しめるコンテンツを設置する。入場は無料で、3月27日まで					○					○	○				
3月6日	放	朝日放送と朝日新聞 ネット動画制作を手がける「BitStar」社と協力し、「YouTube」上で新しいチャンネルブランド「#ONE! (ワン)」を開設。第1弾は部活動がテーマの「#部活ONE!」、人気YouTuberの投稿動画などを配信する															○
3月6日	有	スカパーJSAT「ベーシックパック」のチャンネルを3台までのテレビで追加料金なしで視聴できる「新基本パック複数台無料キャンペーン」の実施期間を9月30日まで延長。通常だと1台1,836円の追加料金がかかっていた。同社の調査で9割以上の加入者が肯定的な回答を寄せたことが背景															
3月7日	ネ	Netflix プレス関係者向けのイベントで、スマホ向けアプリの新機能「モバイルプレビュー機能」を発表。コンテンツのプレビュー動画を縦画面で再生する。同機能は、2016年末からテレビとパソコン向けに提供しているプレビュー機能のモバイル版。iOS版が4月から、その後Android版が提供予定	○					○									
3月7日	放有ネ	プレミアム・プラットフォーム・ジャパン(PPJ) 新動画配信サービス「Paravi(パラビ)」を4月1日から提供開始と発表。TBSやテレビ東京などのドラマ番組や「Paraviオリジナル」として独自コンテンツを配信。ラジオ番組などテキストコンテンツも配信する。料金は999円で、都度課金制でも設置						○									
3月8日	放	フジテレビ 新しいアニメ放送枠「+Ultra」を2018年10月から開設と発表。第1弾は人気ゲーム作品を題材とした「インGRESS」で、深夜の30分放送枠として設置する。高品質の日本アニメを海外にも発信することがコンセプト。既存のアニメ放送枠である「ノイタミナ」も引き続き維持・放送する															
3月8日	ネ放	AbemaTV 2018年4月からの「AbemaTV」の新編成を発表。4月11日で本開局2周年を迎えることから、オリジナルドラマや元SMAPメンバー3名によるレギュラー番組「新しい別の窓」を配信する。アニメも3チャンネルを新設し、新作アニメの地上波同時配信など、視聴可能作品数を倍増させる						○	○								
3月12日	通	KDDI ライフスタイルに関する動画メディア事業などを手がける「エフリー」と資本業務提携を契約と発表。エフリーの発行した株式を約30億円でKDDIが取得し、持分法適用関連会社化する。エフリーの動画事業を取り込みながら、ネット放送でのEコマース事業の企画・推進を行う目的															
3月13日	放	JEITA テレビチューナー搭載機器が4K8Kの衛星放送を受信できることを示す3つのロゴマーク(BS4K、CS4K、BS8K)を制定。普及促進に向けて視聴者が購入する際の指標とすることが目的。放送サービス高度化推進協会(A-PAB)からオンラインで使用許諾を申請可能															○
3月13日	放	NHK 2017年10月30日から11月26日にかけて行った「試験的提供B」の実施結果を公表。各日の利用率は20%で推移しており、全体でも累積利用率が約6割となったと報告。また、20代までの若年層でも約半数が利用し、全世代を通じて同時配信の利用者満足度は約9割に上った															○
3月13日	通	NTTドコモ バスケットボール女子日本リーグなどと共同で、自動撮影による選手の追尾映像のライブ配信と、試合解析のトライアルを実施したと発表。スポーツ競技でのリアルタイム映像やデータ解析による戦術分析、映像の付加価値向上が目的															○
3月13日	ネ	LINE スマートスピーカー「Clova WAVE」のテレビ連携機能が強化され、音声で地上波、BS、CSの切り替え操作ができるようになった。これまでの電源や音量操作に加え、「Clova、テレビをBSに」と話しかけることで、BS放送に切り替えることができる															○
3月14日	広	電通 ヘッドマウントディスプレイを用いて動画などを3D空間に配置することで、アイデアの整理を促すVRツール「GOMOLU(ゴモル)」を株式会社アタリと共同開発。ニュース視聴も可能															○
3月15日		バンダイナムコエンターテインメント ゲームに特化したライブストリーミング動画配信サービス「&CAST!!!-キャストと遊べる生配信-」を提供開始。5つの番組が用意され、自身のアバターを作って声優との会話やゲームを一緒に楽しめる															○
3月17日	ネ放	HJホールディングス オートバイの世界最高峰レースとされる「MotoGP」の2018年シーズン全試合をライブ配信。3月17日の第1試合から、11月18日の最終戦までを車載カメラや位置情報など独自仕様で配信する。なお、マルチアングルはスマホやパソコンなどの対応で、テレビは非対応															○
3月18日	通	NTTドコモ 「DAZN for docomo」の会員数が提供開始から1年1ヶ月で100万人を突破。同サービスはPerformの「DAZN」をドコモ向けに提供するもので、ドコモ利用者なら月額980円で利用できる。会員100万人突破記念で「dポイント」(合計100万ポイント分)の山分けキャンペーンなどを実施															
3月19日	ネ	スマートニュース ニュースアプリ「SmartNews」の「チャンネルプラス」に男子プロバスケットボール「Bリーグ」の試合情報を提供する専門チャンネル「Bリーグチャンネル」が追加。試合のダイジェスト動画や各チームや選手の情報を一度に閲覧することができる															○
3月19日	有	イツコ・コミュニケーションズ(イツコム) 携帯端末で多チャンネル放送をリアルタイム視聴できるIPリニア配信サービス「みるプラスTV」を「イツコムひかり」のテレビサービス加入者向けに提供。国内外のチャンネルを追加料金不要で楽しめる。各世帯最大5台のデバイスで同時視聴ができる	○														○
3月20日	ネ放有	GYAOとヤフー 北海道文化放送による生放送番組を、「GYAO!」でも地上波と同時にネット配信。「GYAO!」がテレビの生放送をネットで同時配信するのは初めて。同企画ではネットと放送の連携企画として、番組で紹介する北海道の特産物などを「Yahoo!ショッピング」で特別価格にて販売する															
3月20日	有	スカパーJSAT 2018年シーズンのプロ野球セ・パ両リーグ公式戦を全試合配信すると発表。これに合わせて、「J SPORTS」など各スポーツチャンネルを視聴できる「スカパー! プロ野球セット」(月額3980円。3月31日までのキャンペーン期間は1980円)を提供する。開幕直前に特別番組も配信															
3月20日	ネ	HJホールディングス 「Hulu」で読売巨人軍の2018年シーズン公式戦全試合をライブ配信すると発表。日本テレビと読売新聞による「ジャイアンツ LIVEストリーム」から映像が提供される。なお、今シーズンからはAndroid TVなどスマートテレビからでも視聴可能となる															○

2018年3月まとめ																	
月日	事業者	内容	マルチスクリーン化	スマートテレビ化	動画配信化					録画視聴化	分散型化	ソリシヤル化	高画質化・高精細化	VR・AR・ドローン	データ活用・AI	通信インフラ・モバイル端末サービス	
					ハイブリットキャスト	有料VOD	無料VOD	同時配信・時差再生	その他(ライブ配信・マルチコンテンツ配信等)								
3月20日	ネ	楽天「Rakuten TV」でプロ野球パ・リーグの公式戦全試合を配信する「Rakuten パ・リーグ Special」を提供開始。実況解説付きでのライブ配信や過去の試合をオンデマンドで楽しめる。料金は月額690円、年額5500円。なお、初回登録後の31日間は無料で利用できる							○								
3月21日		ジャニーズ事務所「YouTube」上に「ジャニーズJr.チャンネル」を開設。ジャニーズJr.のメンバーを中心に、トーク企画やバラエティーをほぼ毎日更新する予定。ジャニーズはこれまでネットメディアでの露出を控えていたが、昨年から一部方針を展開していた							○								
3月22日	放	NHK 関東広域で実施中の「radiko」でのNHKラジオの実験配信を2018年度も継続し、4月12日から全国へ拡大する予定であると発表。ユーザーからの好意的な意見から決められた。ただし、「エリアフリー聴取」や「タイムフリー聴取」の対象外であり、同時配信のみの展開となる							○								
3月22日	放	TBS「TBSオンデマンド」のサービス終了を発表。6月30日に終了予定。有料会員には4月1日に開始する動画配信サービス「Paravi」への移行を促すために月額利用料925円が最大2ヶ月間無料になる「乗り換えプラン」を準備している							○								
3月26日	放	KDDI 5Gを活用したタブレット50台への4K映像同時配信の実証実験に国内で初めて成功。沖縄セルラースタジアム那覇の観客席での実験											○				○
3月28日	放	U-NEXT Huawei製の新型セットトップボックス「U-NEXT TV」を発売開始。4K/HDRとDolby Atmosに対応し、Android TVを搭載。音声認識による検索も可能。価格は税抜9,800円		○									○				
3月28日	放	AbemaTV「AbemaTV」がGoogleのスマホVRプラットフォーム「Daydream」に対応。同社のヘッドセット「Daydream View」とVR Agent社とが共同開発した専用アプリを用いることで、画面の拡大・縮小機能やシアターモードなどを体験できる							○					○			
3月31日	放	NTTぶららとドルビージャパン 日本初の立体音響技術「Dolby Atmos」対応コンテンツのリアルタイム配信実験を実施。パシフィコ横浜の音楽ライブを、リアルタイムで高音質化処理することに成功							○				○				